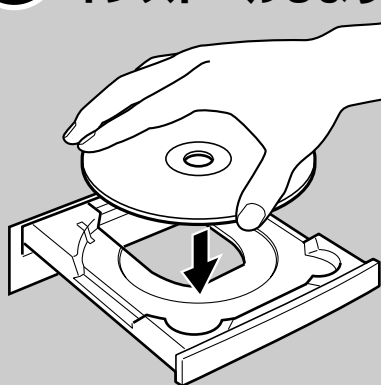
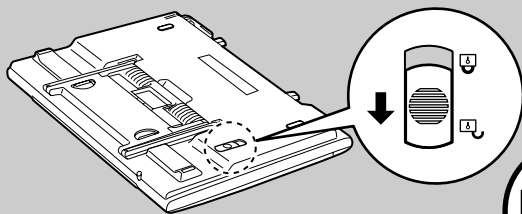
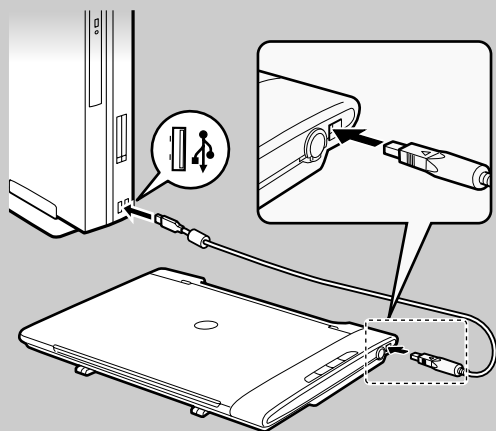
Canon

まず使えるようにしよう

CanoScan LiDE 500F
キヤノスキャン

スキャナ基本ガイド

目次

ご使用の前にかならずこのスキャナ基本ガイドをお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

マニュアルの利用のしかた

箱を開けたら

まず使えるようにしよう - スキャナ基本ガイド - （本書）

箱を開けてからスキャナをセットアップし、スキャンをするまでの、一連の作業を順を追って説明しています。初めてお使いになるときは、かならずこのマニュアルをお読みください。

スキャナ操作ガイド - スキャナをもっと活用しよう - （HTML）

スキャンの手順や目的別スキャン、ScanGear CS やCanoScan Toolboxの使いかた、きれいにスキャンするためのヒント、困ったときの対処方法など、スキャナを使いこなすために必要な情報がまとめてあります。
付属のソフトウェアと共にコンピュータにインストールしてください。デスクトップのアイコンをダブルクリックすると表示されます。「電子マニュアルの見かた」→ P.56

電子
マニュアル

● ArcSoft PhotoStudio マニュアル(PDF)

付属のフォトレタッチソフト ArcSoft PhotoStudio の使いかたを詳しく説明している PDF 形式の電子マニュアルです。

● 読取革命Lite(HTML)

付属の活字カラーOCRソフト 読取革命Lite の使いかたを詳しく説明しているHTML形式の電子マニュアルです。ソフトをインストールすると、マニュアルもいっしょにコンピュータへインストールされます。

キヤノスキャンセットアップ CD-ROM のメインメニュー画面の「マニュアル表示」から選択してお読みください。

・本書では、Windows XP でスキャナを操作している場合の画面で説明しています。特にことわりのない限り、他のWindowsやMacintoshでも操作方法は同じです。Macintosh 画面は、Mac OS X で説明しています。
・画面表示は OS やアプリケーションソフトによって、若干異なります。
・本書では、Windows Millennium Edition を Windows Me、Windows 2000 Professional を Windows 2000、Windows XP Home Edition と Windows XP Professional を Windows XPと記載しています。また、特に制限がない場合、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を Windows と記載しています。

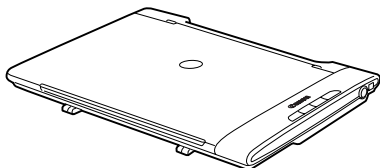
キヤノン販売株式会社
I-IJ-259B

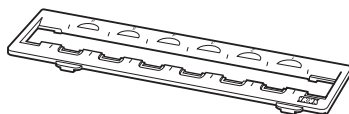
1 パッケージの内容確認

箱を開けたら、パッケージの内容を確認してください。

参考

万一、不足しているものや損傷しているものがある場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

本体および接続用の部品

スキャナ本体

USBケーブル

35mm用フィルムガイド

フィルム用光源ユニット

キヤノスキャンセットアップCD-ROM

このスキャナに付属のキヤノスキャンセットアップCD-ROMには次のソフトウェアと電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」が入っています。ご使用のコンピュータのハードディスクへインストールしてご使用ください。

スキャナドライバ	ScanGear CS（スキャンギア CS）
ユーティリティソフト	CanoScan Toolbox（キヤノスキャン ツールボックス）
画像編集（フォトレタッチ）ソフト	ArcSoft PhotoStudio（アークソフト・フォトスタジオ）
活字カラーOCRソフト	読取革命Lite（ヨミトリカクメイ・ライト）
PDFファイル表示ソフト	Adobe Acrobat Reader（アドビ・アクロバット・リーダー）
HTML形式の電子マニュアル	スキャナ操作ガイド

※ CD-ROMはWindowsとMacintoshのどちらにも使用できます。

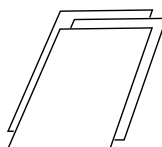
※ 各ソフトウェアについては、「ScanGear CSを使う」（P.29）、「付属のアプリケーションソフト」（P.36）をご覧ください。

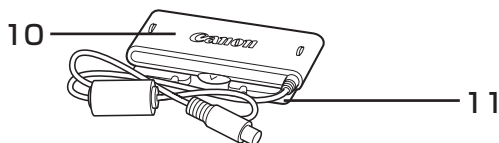
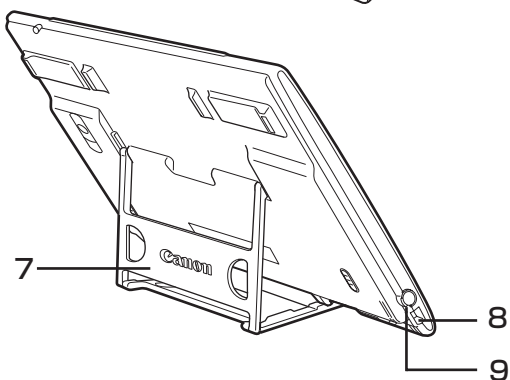
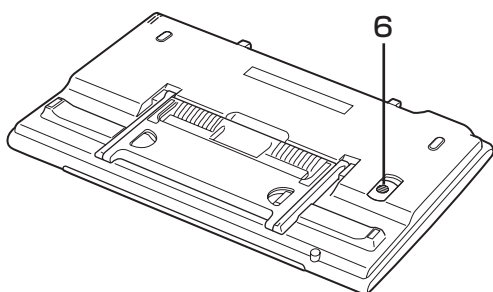
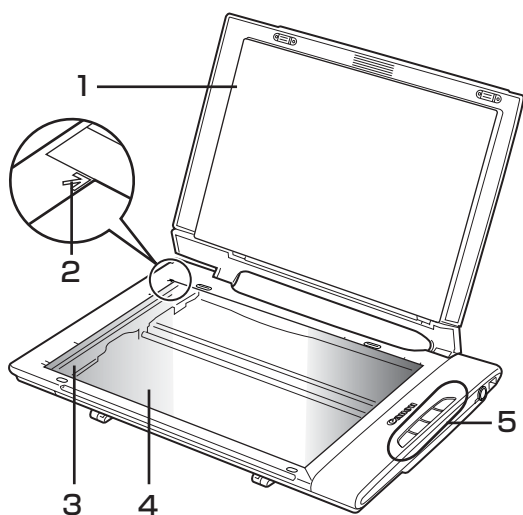
※ 電子マニュアルの見かたについてはP.56をご覧ください。

※ 紛失や破損すると、再発行・再配布できないソフトウェアや重要な情報が含まれていますので、使用後も紛失しないように大切に保管してください。

※ 各ソフトウェアのインストール容量は、キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「インストール」画面でご確認ください。（Windows → P.5 / Macintosh → P.8）

説明書、その他

まず使えるようにしよう（スキャナ基本ガイド）

- **安全にお使いいただくためには**
- **各種ご案内**
- **保証書（外箱に貼付）**

2 スキャナ各部の名称

1 **原稿台カバー**
セットした原稿を押さえます。(→P.14〜16)

2 **原稿位置合わせマーク**
原稿の角をこのマークに合わせます。

3 **原稿読み取りユニット**
光をあてて、原稿を読み取るスキャナの心臓部です。

4 **原稿台ガラス**
スキャンする原稿を置きます。

5 **EZ(イージー)ボタン(→P.24)**
ボタンを押すだけで簡単に目的別のスキャンができます。

COPY(コピー)ボタン
原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。

SCAN(スキャン)ボタン
原稿をスキャンし、付属の画像編集ソフトに画像を表示・保存します。

PDF(ピーディーエフ)ボタン
原稿をスキャンし、PDF文書として表示・保存します。

E-MAIL(Eメール)ボタン
原稿をスキャンし、メールソフトの新規メッセージにファイルを添付します。

6 **ロックスイッチ(→P.10)**
原稿読み取りユニットをロック、または解除します。

7 **スタンド(折りたたみ式)(→P.13)**
スキャナを立てて置くときに引き出します。

8 **USBコネクタ**
付属のUSBケーブルを接続するコネクタです。

9 **FAUコネクタ**
フィルム用光源ユニットのケーブルを接続するコネクタです。

10 **フィルム用光源ユニット**
フィルムに光をあてる光源です。

11 **キャップ**
フィルム用光源ユニットの発光面を保護するためのカバーです。

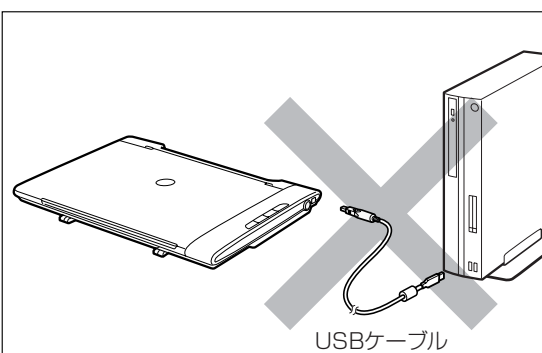
このスキャナには、電源スイッチや電源ランプはありません。AC アダプタや電源ケーブルは不要です。コンピュータとスキャナをUSBケーブルで接続し、コンピュータの電源を入れたときに、スキャナの電源も入ります。

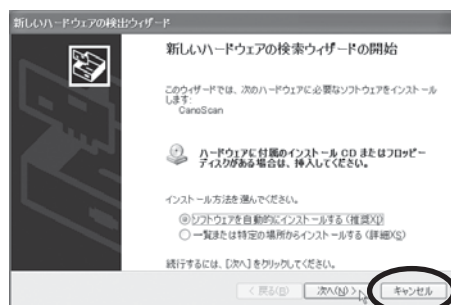
3 ソフトウェアをインストールする

まず以下の注意をお読みになってから、「Windowsにインストールする」(P.4)、「Macintoshにインストールする」(P.7)にお進みください。

●スキャナを接続する前にソフトウェアをインストールしてください。

スキャナをコンピュータに接続する前に、同梱のキヤノスキャンセットアップCD-ROMを使って、スキャナを使うために必要なソフトウェアを必ずインストールしてください。

スキャナをコンピュータに接続しないでください。もし接続している場合は、USBケーブルをはずしてください。
ソフトウェアをインストールする前にスキャナをコンピュータに接続してしまうと、スキャナが正常に動作しなくなる原因になりますので、十分に注意してください。

Windowsで「新しいハードウェアの検出ウィザード」または「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてウィザード画面を消してください。

※ ソフトウェアをインストールする前にスキャナをコンピュータへ接続した場合、この画面が表示されます。

●ハードディスクの空き容量を確認してください。

- すべてのソフトウェアをインストールするために必要な空き容量は、Windowsの場合は150 MB、Macintoshの場合は135 MBです。コンピュータが安定して動作するためには、さらに空き容量が必要です。各ソフトウェアのインストール容量は、キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「インストール」画面でご確認ください。(Windows → P.5 / Macintosh → P.8)
- ハードディスクに十分な空き容量がない場合は、「うまく動作しないときは」の症状3(P.49)を参考に、不要なファイルやアプリケーションソフトを削除してください。

「Windowsにインストールする」☞ P.4

「Macintoshにインストールする」☞ P.7

インストールがうまくできなかった場合は、「うまく動作しないときは」の「インストールのトラブル」をお読みください。(→P.48〜50)

Windowsにインストールする

重要

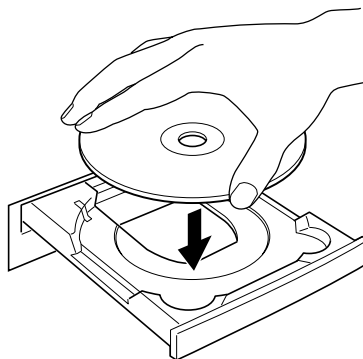
Windows 2000またはWindows XPを複数のユーザー設定でお使いのかたへ
ソフトウェアのインストールはAdministrator（システム管理者）が行ってください。
詳しくは、Windowsのマニュアルやヘルプをご覧ください。複数ユーザー設定をしていないときは、そのままインストールを続けてください。

1 コンピュータの電源を入れます。

2 キヤノスキャンセットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

▼ キヤノスキャン セットアップのメインメニュー画面が表示されます。

参考

メインメニュー画面が自動的に表示されないときは、「うまく動作しないときは」の「インストールのトラブル」の「症状 1」をご覧ください。（→ P.48）

3 ［インストール］ボタンをクリックします。

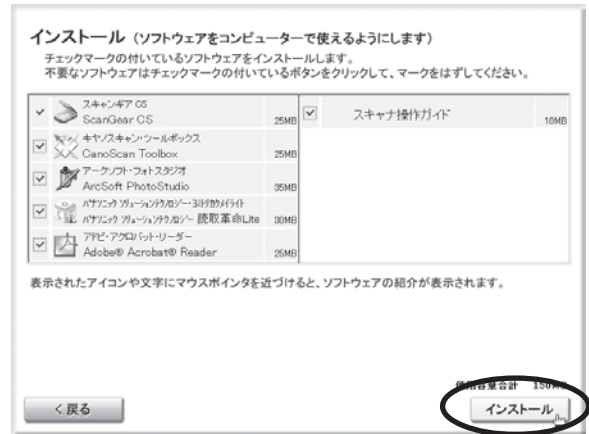
▼ インストール時の注意事項が表示されます。

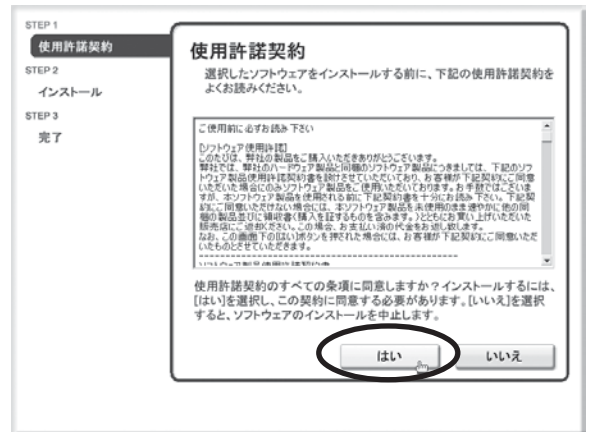
4 インストール時の注意事項をよくお読みになり［次へ］ボタンをクリックします。

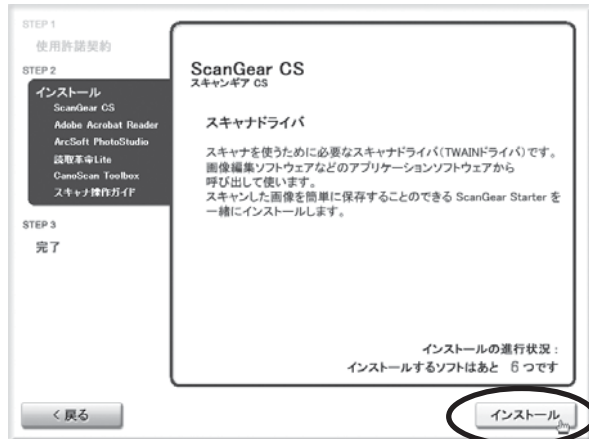
▼ ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

5 インストールするソフトウェアを選択し、[インストール] ボタンをクリックします。

ここでは、すべてのソフトウェアと「スキャナ操作ガイド」をインストールします。

▼ ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されます。

6 使用許諾契約をよくお読みになり、[はい] ボタンをクリックします。

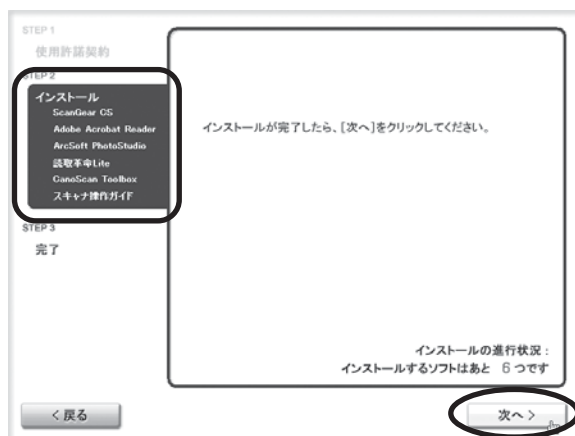
▼ インストールするソフトウェアの一覧と、ソフトウェアの説明が表示されます。

7 [インストール] ボタンをクリックします。

▼ ScanGear CS と ScanGear Starter がインストールされます。

8 [次へ] ボタンをクリックし、ソフトウェアのインストールを続けます。

画面に表示される指示に従って [はい] や [次へ] などのボタンをクリックし、選択したすべてのソフトウェアをインストールします。

重要

インストール中は、画面に表示されたダイアログ（メッセージ）以外は、クリックしないようにご注意ください。

ソフトウェアは画面左側に表示されている順番でインストールされます。

9 「ソフトウェアのインストールが完了しました。」のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

▼ すべてのソフトウェアのインストールが終了すると、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。

10 [再起動] ボタンをクリックします。

▼ コンピュータが再起動します。

11 再起動のあと、キヤノスキャンセットアップCD-ROMを取り出します。

メインメニュー画面が表示された場合は、[終了] をクリックしてから取り出します。

重要

キヤノスキャンセットアップ CD-ROM には、紛失や破損すると再発行・再配布できないソフトウェアや重要な情報が含まれていますので、使用後も大切に保管してください。

次は「スキャナを準備する」☞ P.10

Macintoshにインストールする

> **重要**
> **Mac OS Xを複数のユーザ（アカウント）でお使いのかたへ**
> かならず最初に登録した管理者のアカウントでログインしてソフトウェアをインストールしてください。
> 追加したアカウントにコンピュータの管理権が設定されていてもソフトウェアはインストールできません。

1 **コンピュータの電源を入れます。**

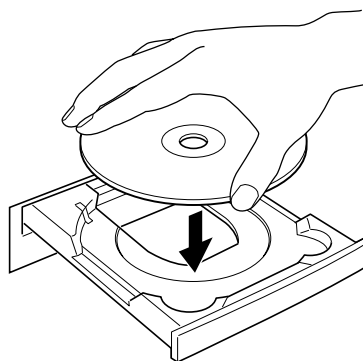
2 **キヤノスキャンセットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。**

3 **CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。**

4 **［SetUp］アイコンをダブルクリックします。**

▼ キヤノスキャン セットアップのメインメニュー画面が表示されます。

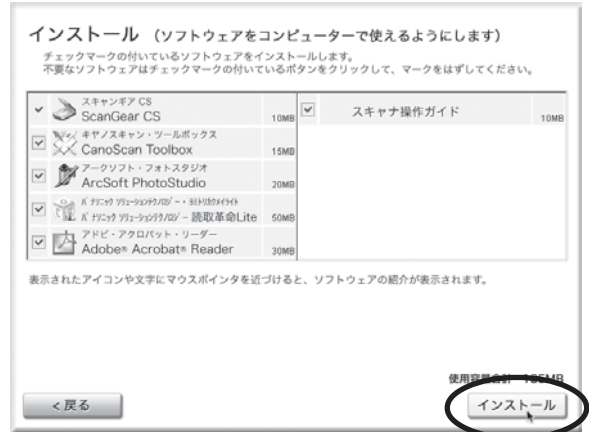
5 **［インストール］ボタンをクリックします。**

▼ インストール時の注意事項が表示されます。

6 **インストール時の注意事項をよくお読みになり［次へ］ボタンをクリックします。**

▼ ソフトウェアのインストール画面が表示されます。

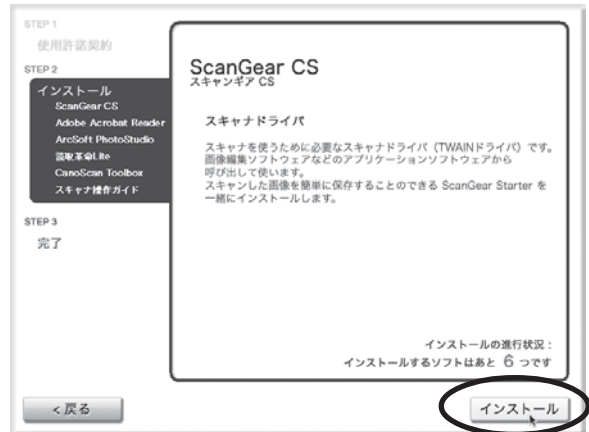
7 インストールするソフトウェアを選択し、[インストール] ボタンをクリックします。

ここでは、すべてのソフトウェアと「スキャナ操作ガイド」をインストールします。

▼ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されます。

8 使用許諾契約をよくお読みになり、[はい] ボタンをクリックします。

▼インストールするソフトウェアの一覧と、ソフトウェアの説明が表示されます。

9 [インストール] ボタンをクリックします。

▼ScanGear CS と ScanGear Starter がインストールされます。

▼右のような認証画面が表示されたら管理者（最初に登録したユーザ）の名前とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

パスワードを忘れたときは、Macintosh コンピュータまたは Mac OS X に付属の「Welcome to Mac OS X」あるいは「インストール&設定ガイド」をご覧ください。

Macintosh

10 ［次へ］ボタンをクリックし、ソフトウェアのインストールを続けます。

画面に表示される指示に従って［はい］や［次へ］などのボタンをクリックし、選択したすべてのソフトウェアをインストールします。

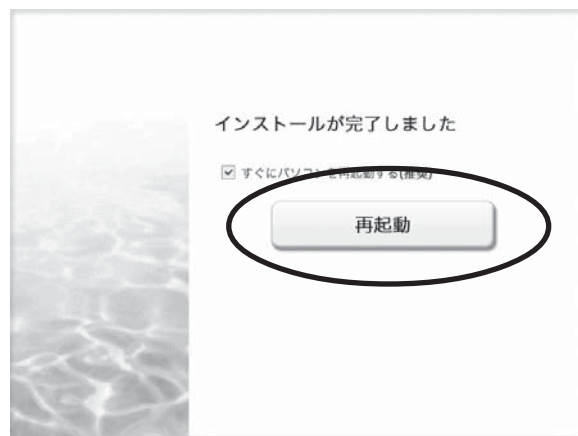
インストール中は、画面に表示されたダイアログ（メッセージ）以外は、クリックしないようにご注意ください。

ソフトウェアは画面左側に表示されている順番でインストールされます。

11 「ソフトウェアのインストールが完了しました。」のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

▼ すべてのソフトウェアのインストールが終了すると、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。

12 ［再起動］ボタンをクリックします。

▼ コンピュータが再起動します。

13 再起動のあと、キヤノスキャンセットアップCD-ROMを取り出します。

メインメニュー画面が表示された場合は、［終了］をクリックしてから取り出します。

キヤノスキャンセットアップ CD-ROM は、紛失や破損した場合、再発行・再配布できないソフトウェアや重要な情報が含まれていますので、使用後も大切に保管してください。

次は「スキャナを準備する」☞ P.10

4 スキャナを準備する

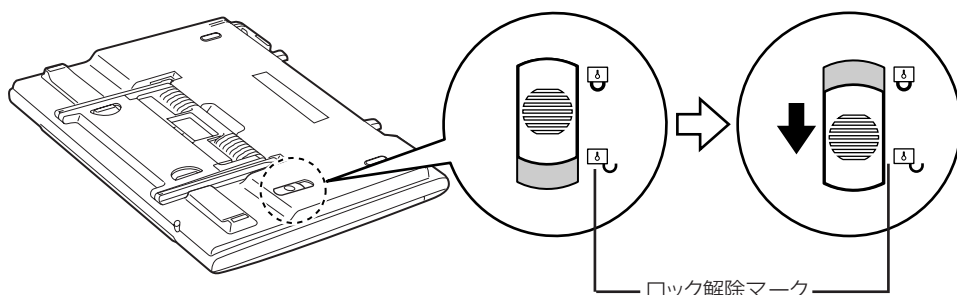
ロックの解除

はじめに、輸送時の破損防止のために付いているロック（原稿読み取りユニットを固定するロック）を解除します。

> **重要** スキャナをコンピュータに接続する前に、かならずロックを解除してください。ロックを解除しないで使用すると、故障やトラブルの原因となることがあります。

1 **スキャナのテープをはがします。**

2 **スキャナを裏返します。**

3 **本体底面のロックスイッチを、ロック解除マーク（ ）の方向に動かして、ロックを解除します。**

4 **スキャナを元に戻します。**

スキャナを移動したり、輸送したりするときは、原稿読み取りユニットを固定するため、ロックスイッチをロックマーク（ ）の方向に動かしてかならずロックしてください。

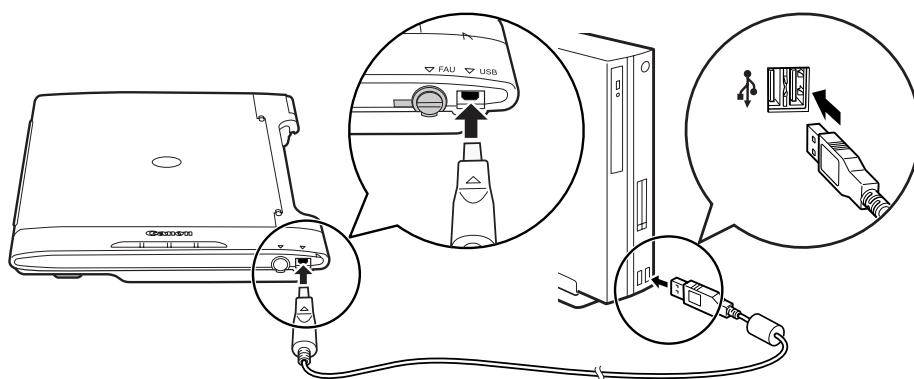
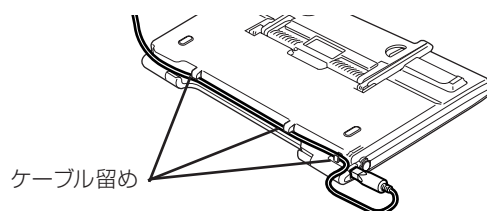
スキャナの接続

ロックを解除した後、スキャナをコンピュータに接続します。

スキャナのロックが解除されていることを確認します。（P.10）

1 付属のUSBケーブルをスキャナとコンピュータに接続します。

USB ケーブルのプラグは、コンピュータ側が大きく平らなほう、スキャナ側が小さく四角いほうを差し込みます。スキャナ側は、プラグの▲マークと本体の▼マークを合わせて差し込みます。

USB ケーブルは、かならず付属のものをご使用ください。他の USB ケーブルをご使用になると、故障の原因となります。

このスキャナにはUSBケーブルのケーブル留めが付いています。USBケーブルをスキャナに沿って留めることができます。スタンドで立てる時には先に留めてください。

- このスキャナには電源スイッチがついていません。コンピュータとスキャナを USB ケーブルで接続してあれば、スキャナの電源はコンピュータの電源に連動して「入／切」します。またコンピュータの電源が入っているときに、スキャナの USB ケーブルを抜き差ししてスキャナの電源を「入／切」することもできます。
- Windows XP がインストールされているコンピュータで、USB（USB1.1 相当）のポートに接続したときに「高速ではない USB ハブに接続している高速デバイス」というメッセージが表示される場合がありますが使用上問題はありません。画面右上の ☒ をクリックしてメッセージ表示を閉じてください。

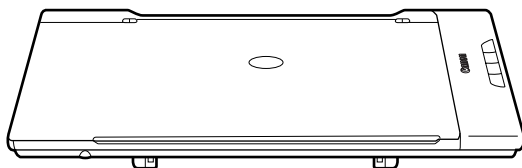
これでスキャナの接続は終了です。

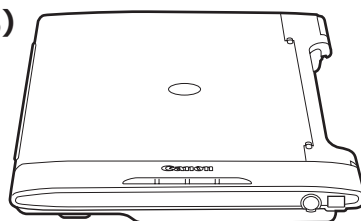
「スキャナの置きかた」☞ P.12　「スキャンする -1（動作の確認）」☞ P.17

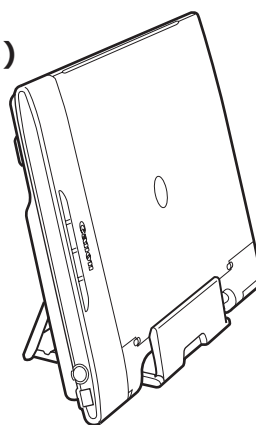
スキャナの置きかた

このスキャナは、設置場所の広さやスキャンする原稿の種類、目的に応じていろいろな置きかたができます。設置場所については、別紙「安全にお使いいただくためには」の「設置・使用条件について」をお読みの上、安全で安定した場所に設置してください。

横向きに置く（ポジションA）

EZボタンが右側になり、原稿台カバーは手前から奥へ向かって開きます。雑誌や書籍または原稿台より大きな原稿やフィルムスキャンができます。

縦向きに置く（ポジションB）

EZボタンが手前になり、原稿台カバーは右側に開きます。雑誌や書籍または原稿台より大きな原稿やフィルムスキャンができます。

スタンドで立てる（ポジションC）

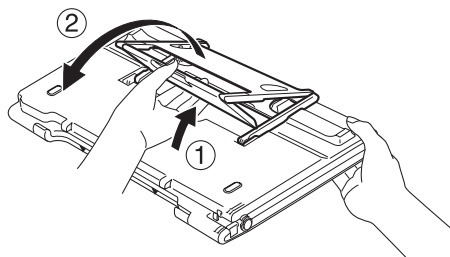
最も省スペースな置きかたです。1枚の原稿や2つ折り程度の薄い原稿のスキャンができます。
フィルムスキャンはできません。

「スタンドのセットのしかた」→ P.13

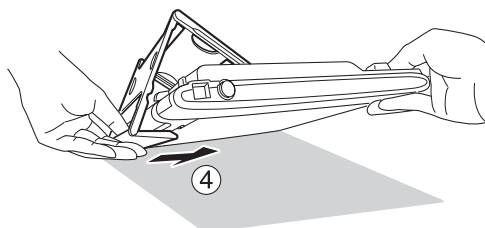
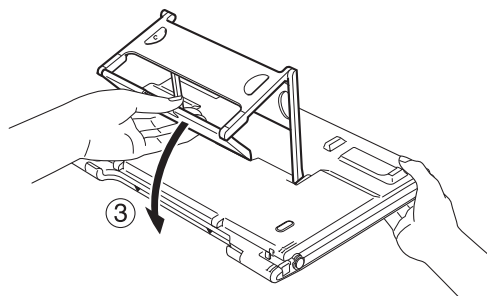
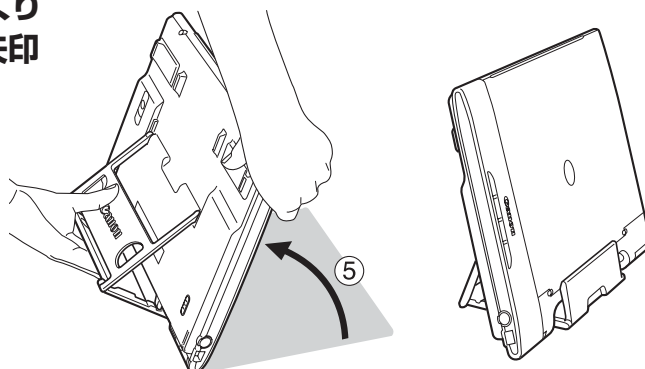
スタンドのセットのしかた

このスキャナはスタンドを使って立てることができます。

重 要

- USB ケーブルを接続している場合は、スキャナ側のプラグを抜くことをおすすめします。
- スキャナの重量は約 2kg です。スキャナを持ち上げるときは両手でしっかりと持ち、落とさないように注意してください。
- スタンドをセットする前に、原稿台カバーの下部が浮いていないことを確認してください（→ P.16）。

1 **スキャナを裏返します。**

2 **スキャナ背面のスタンドを図のように持って持ち上げ（矢印①）、回転させるようにして起こします（矢印②）。**

3 **スタンドの先端をスキャナの表側に出します（矢印③，④）。**

4 **スタンドを手で支えながらゆっくりとスキャナを立ててください（矢印⑤）。**

原稿のセット

このスキャナは、置きかたや原稿の大きさで原稿台カバーの開きかたや原稿のセット方法が異なります。

重 要

- 原稿台カバーを開くときは、カバーが完全に止まるところまで手を添えて開いてください。
- 2kg 以上の原稿はのせないでください。また原稿（原稿台カバー）の上から手で強く押さえたり、重みをかけないでください。スキャナが正しく動作しなくなることがあります。

原稿台より小さな原稿の場合

●原稿台カバーを普通に開く

原稿台より小さな原稿、写真やA4サイズ、B5サイズの書類などは次の手順でセットします。

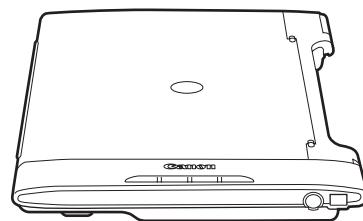
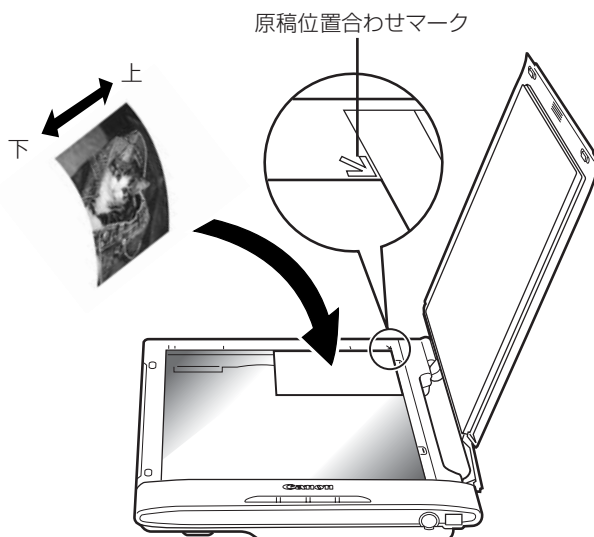
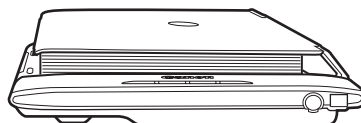
1 原稿台カバーを開きます。

右図の開いた位置で止まります。

2 原稿を原稿位置合わせマークに合わせてセットします。

読み取る面を下向きにし、原稿の上部を原稿位置合わせマークに合わせてセットします。

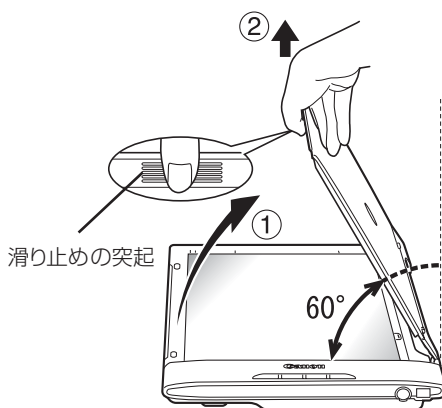
3 原稿がずれないように静かに原稿台カバーを閉じます。

参 考

雑誌や書籍など、最大約 24mm までの厚手の原稿がセットできます。

原稿台より大きな原稿の場合

●原稿台カバーを全開にするとき

原稿台より大きな原稿や雑誌、書籍などは次の手順でセットします。
原稿台カバーを開くときには、開く側に約30cmのスペースと置いてあるものがないことを確認してください。

1 原稿台カバー中央部分を図のように持ち、原稿台カバーを開きます（矢印①）。

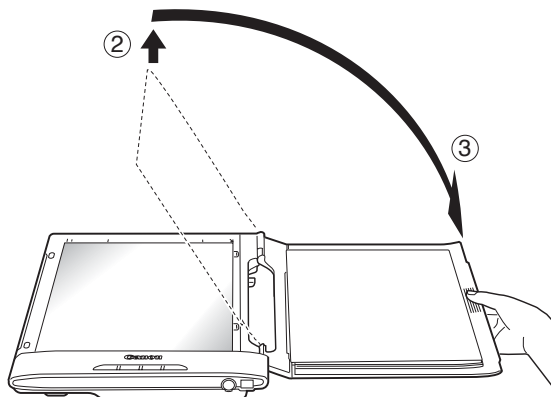
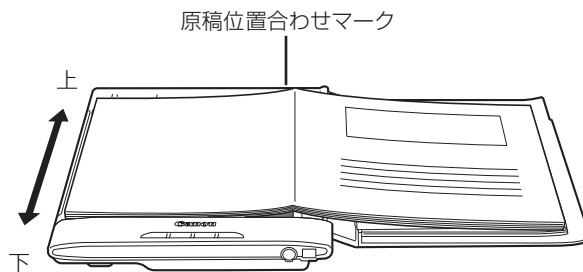
原稿台カバー中央部分の内側には、滑り止めの突起があります。

2 原稿台カバーを約60°開いたところで、上に軽く引っ張ります（矢印②）。

3 原稿台カバーを上に軽く引っ張りながら（矢印②）、ゆっくりと開きます（矢印③）。

重 要

途中で引っかかって開かないときは、無理に開かずに手順２の操作からやり直してください。

4 原稿をセットします。

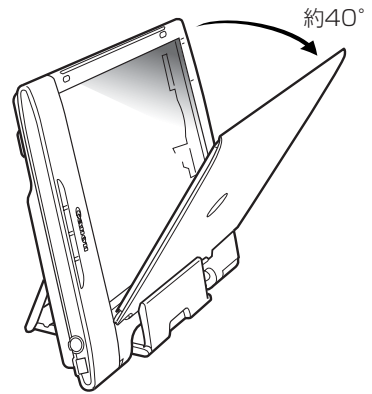
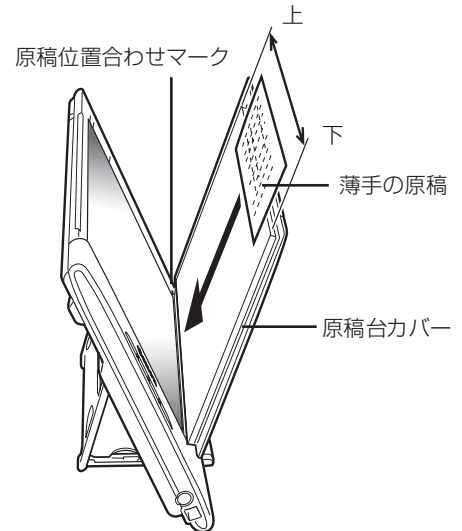
参 考

原稿に光が入って画像が白く欠けるようなときは、原稿の上から黒い布などでおおってください。

スタンドで立てたとき

1枚の原稿や2つ折り程度の薄い原稿などは次の手順で原稿をセットします。

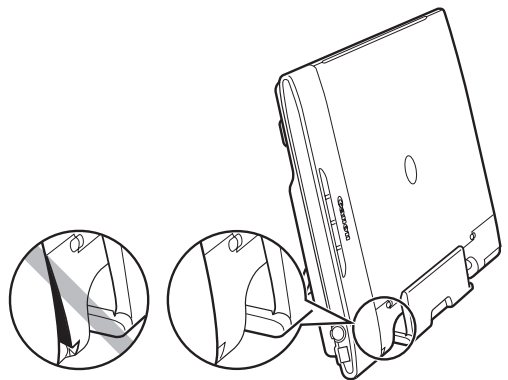
1 原稿台カバーを開きます。

重要

原稿台カバーは約40°まで開きます。原稿台カバーを無理に開くと、スタンドが破損したり、スキャナが倒れるおそれがあります。

2 原稿を原稿台カバーに沿って入れます。

3 原稿台カバーを閉じます。

スキャナ本体と原稿台カバーがマグネットで密着するようになっています。

原稿台カバー下部が右図の左の拡大図のように浮いているときは、いったんスタンドをたたんでカバーの開け閉めをし、右の拡大図のようにしてください。

参考

スタンドを立てたときは、次のような原稿はスキャンできません。

- 本や雑誌など厚みのあるものをスキャンするとき　→ P.14
- 原稿台より大きな原稿をスキャンするとき　→ P.15
- フィルムをスキャンするとき　→ P.38

5 スキャンする -1（動作の確認）

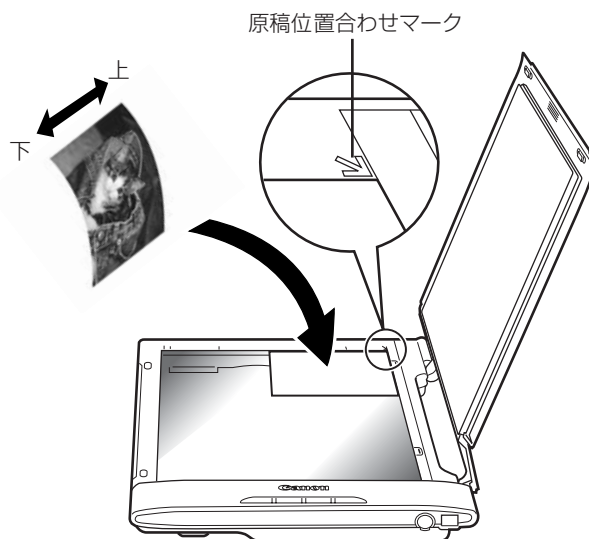
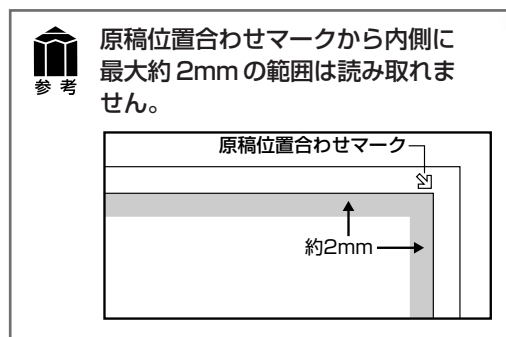
画像編集ソフトArcSoft PhotoStudio（アークソフト・フォトスタジオ）とスキャナドライバScanGear CS（スキャンギアCS）を使って、スキャナの動作確認を行います。スキャンする原稿にはカラー写真原稿をご用意ください。ここでは、スキャナの動作確認のための基本的な操作のみ説明しています。

手順の途中でソフトウェアやスキャナがうまく動作しなくなった場合は、「うまく動作しないときは」の「スキャンのトラブル」をご覧ください。**（→ P.50 ～ 53）**

1 スキャナに原稿をセットし、原稿台カバーを閉じます。

読み取る面を下向きにし、原稿の上部を原稿位置合わせマークに合わせてセットします。

参考

原稿位置合わせマークから内側に最大約 2mm の範囲は読み取れません。

2 ArcSoft PhotoStudioを起動します。

Windows

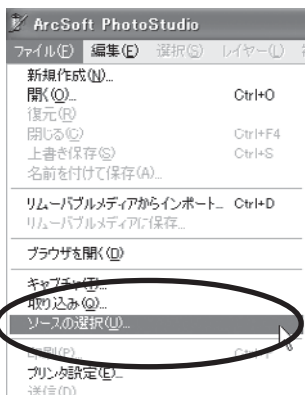
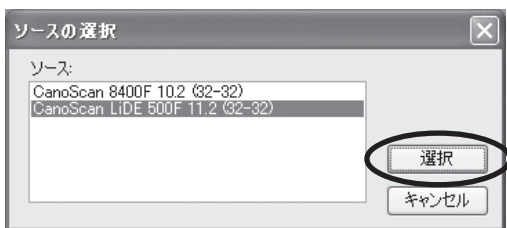
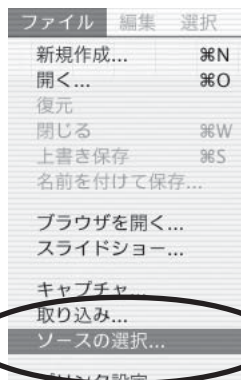
Windowsの［スタート］→［(すべての) プログラム］→［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択して、ArcSoft PhotoStudio を起動します。

Macintosh

Macintosh HD の［アプリケーション］フォルダを開き、［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックします。

3 スキャナを選択します。

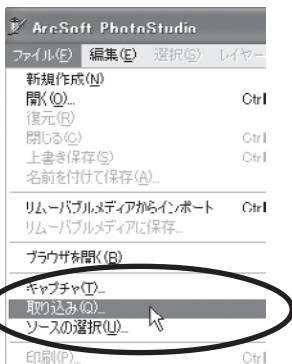
［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選択します。

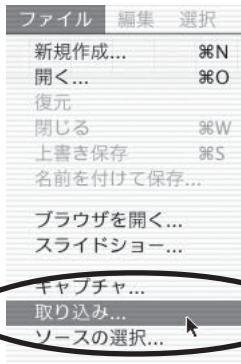
Windows

「ソースの選択」画面で、お使いのスキャナ名を選択して［選択］をクリックします。

＊お使いのコンピュータにより若干表示が異なります。

「ソースを選択」画面で、お使いのスキャナ名を選択して［OK］をクリックします。

この操作は最初に設定しておけば、2 回目以降必要ありません。また、他のスキャナやデジタルカメラを選択したあとはこの操作が必要です。ただし、アプリケーションソフトによっては毎回設定するものもあります。

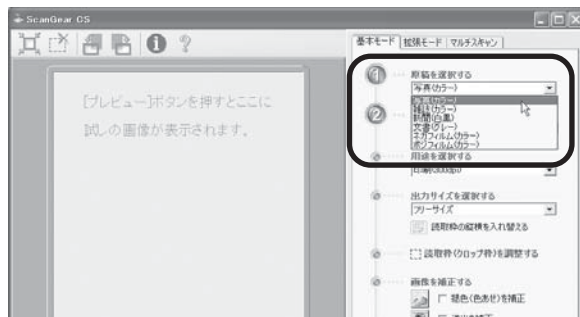
4 ScanGear CSを起動します。

メニューバーの （取り込みアイコン）をクリックするか、［ファイル］メニューの［取り込み］を選択します。

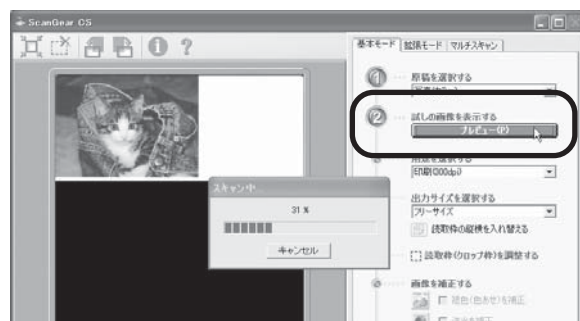
Windows

Macintosh

▼ ScanGear CS が起動します。

ここでは ScanGear CS の基本モードでの操作を紹介します。
基本モードでは、①原稿を選択する → ②試しの画像を表示する［プレビュー］→ ③画像を読み取る［スキャン］、の３つの操作（手順５→６→８）だけでも簡単にスキャンできます。

5 ①原稿を選択する

ここでは用意した原稿に合わせ、「原稿を選択する」のプルダウンメニューから［写真（カラー）］を選択します。

6 ②試しの画像を表示する

［プレビュー］ボタンをクリックします。

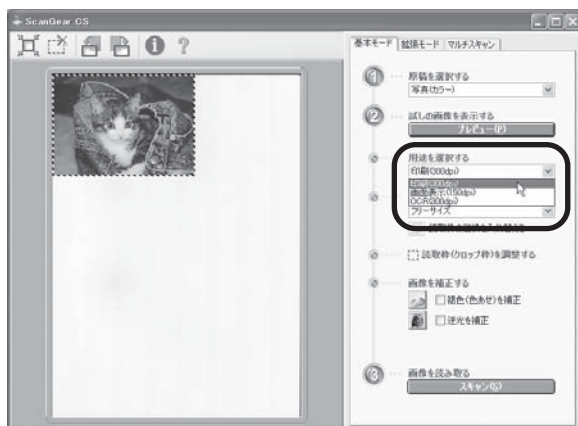
▼キャリブレーションが始まります。
キャリブレーションとは、正しい色合いを調整するための作業です。約１～２分で終わり、ScanGear CS の画面にプレビュー画像が表示されます。

スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。

このスキャナを初めて使用するときは、キャリブレーションが始まります。
初めてスキャンをおこなう時や一定回数スキャンしたときに自動的におこなわれます。キャリブレーションが始まったら表示されるメッセージに従い、終わるのを待って次の操作へ進んでください。

次のページへ

7 必要があれば次の設定をします。

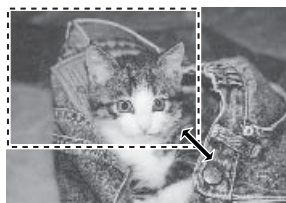
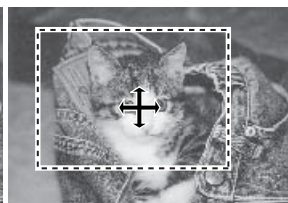
用途を選択する

スキャン画像の用途により、[印刷（300dpi)]、[画面表示(150dpi)]または[OCR(300dpi)]を選択します。

出力サイズを選択する

スキャンするときの大きさを決めます。

・ 用途で［印刷（300dpi)］を選択すると、L判、2L判、はがき、A4などの用紙サイズに拡大 / 縮小してスキャンできます。
・ 用途で［画面表示（150dpi)］を選択すると、コンピュータのディスプレイサイズやデジタルカメラのサイズに合わせたピクセル数でスキャンできます。
・ 用途で［OCR（300dpi)］を選択した場合、［フリーサイズ］に固定されます。
・ ［フリーサイズ］は、原稿を等倍でスキャンします。

読取枠（クロップ枠）を調整する

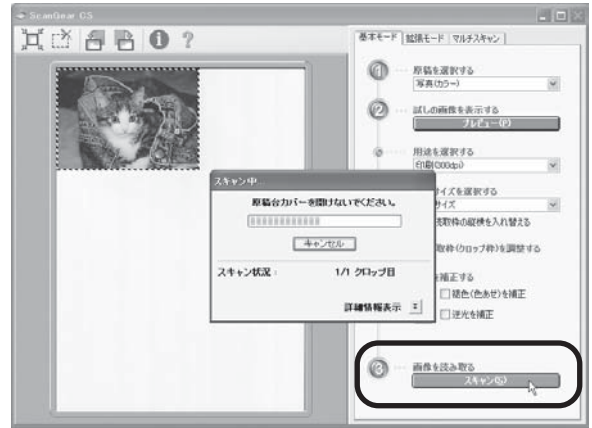
スキャンされる範囲を示す枠（クロップ枠）は、プレビュー後、自動的に原稿の大きさに設定（オートクロップ）されていますが、このクロップ枠を調整することができます。
クロップ枠の点線上や内側にマウスポインタを合わせ、縦横方向や斜め方向に動かして枠の大きさや位置を変えます。

拡大・縮小　　移動

画像を補正する

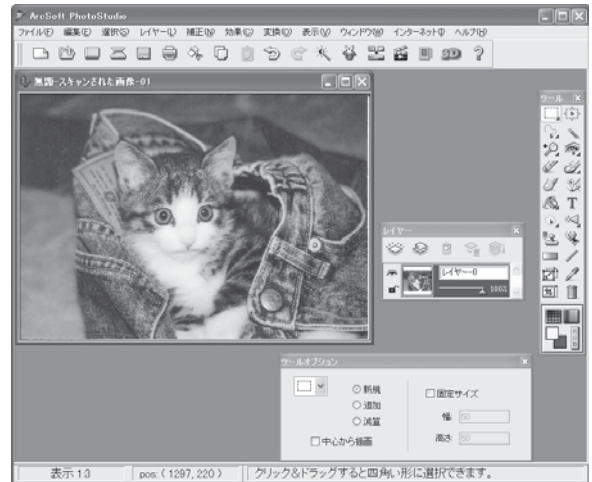
色あせた古い写真や逆光になった写真のスキャンをするときに画像の補正ができます。
補正するときは、□（チェックボックス）をクリックしてチェックマークを付けます。

8 画像を読み取る

［スキャン］ボタンをクリックします。
▼本スキャンが始まり、原稿を読み取ります。

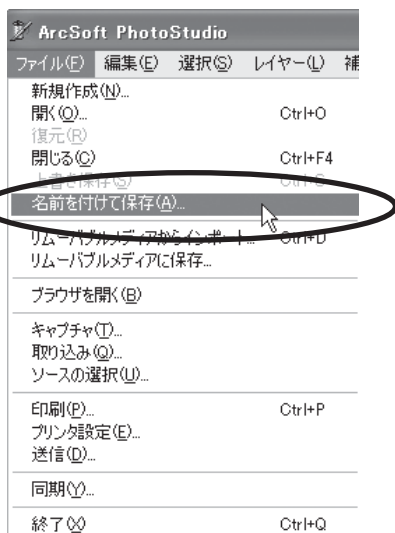
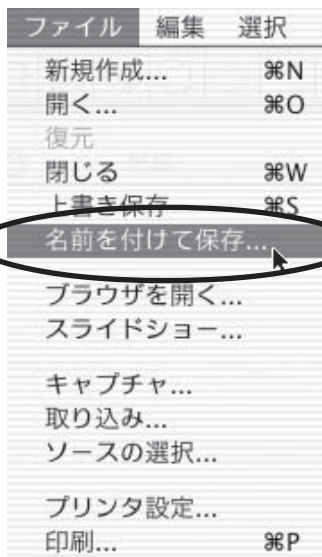
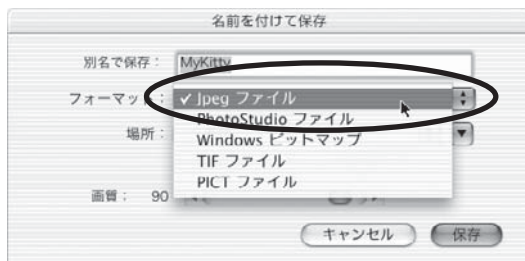
> **重要** スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。

9 読み取りが終了したら、画面右上の閉じるボタン ☒（Windows）または ⊗（Macintosh）をクリックし、ScanGear CSを閉じてください。

▼アプリケーションソフトArcSoft PhotoStudioの画面に、読み取った画像が表示されます。

ここまでの操作でArcSoft PhotoStudioにスキャンした画像が表示されれば、スキャナ本体やソフトウェアの動作は正常です。

次のページへ

10 画像を保存します。

［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択します。

Windows

Macintosh

▼「名前を付けて保存」の画面が表示されます。
（画面の表示は、お使いのコンピュータによって違います。）

ファイルの種類（Windows）／フォーマット（Macintosh）を選択し、ファイル名と保存する場所を指定して［保存］をクリックします。

11 ArcSoft PhotoStudioの閉じるボタン（Windows）または（Macintosh）をクリックして終了します。

以上でスキャナの動作確認は終了です。

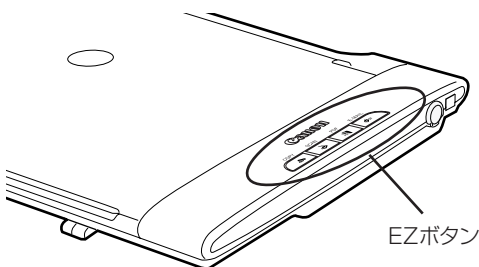
- ScanGear CS の使いかたの詳細については「ScanGear CS を使う」（→ P.29）、またはツールバーの（マニュアル表示ボタン）をクリックして「ScanGear CS の使いかた」をご覧ください。
- ArcSoft PhotoStudio の詳しい使いかたは、CD-ROM 内の電子マニュアルをご覧ください。（電子マニュアルの見かた→ P.56）

6 スキャンする -2

いろいろなスキャン

このスキャナは、本体に付いているEZ（イージー）ボタン、CanoScan Toolbox（キヤノスキャン ツールボックス）、アプリケーションソフト、ScanGear Starter（スキャンギア スターター）の4種類の方法でスキャンができます。目的に合った最適なスキャン方法を選んでください。

EZボタンでスキャンする

スキャナ本体のEZボタンを押すだけで、原稿をスキャンして印刷（COPY）、保存（SCAN）、PDFの作成（PDF）、メール添付（E-MAIL）ができます。
→ P.24

CanoScan Toolboxでスキャンする

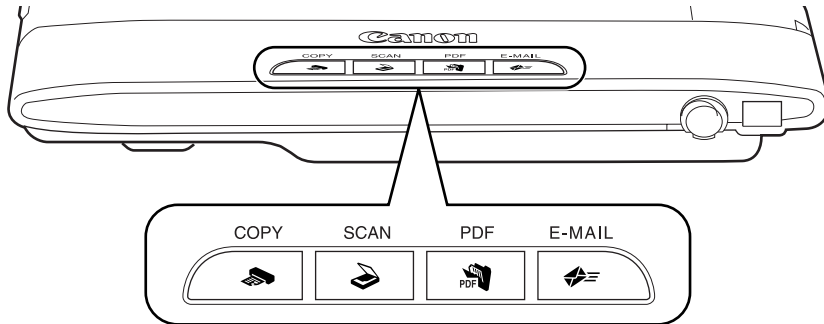
画面のボタンをクリックするだけで、原稿をスキャンしてコピー、プリント、メール添付、OCR取り込み、保存、PDF作成、アプリケーションへの画像の取り込みができます。→ P.27

ScanGear CSでスキャンする

①アプリケーションソフトでスキャンする
ドライバソフトScanGear CSを、付属の画像編集ソフトArcSoft PhotoStudioなど、TWAIN（トゥエイン）に対応したアプリケーションソフトから起動して原稿をスキャンし、画像を保存できます。
→ P.17

②ScanGear Starterでスキャンする
ScanGear Starterは、アプリケーションソフトを使わずに、ドライバソフトScanGear CSを直接起動して原稿をスキャンし、画像を保存できます。
→ P.34

EZ（イージー）ボタンでスキャンする

このスキャナ本体には、COPY（コピー）ボタン、SCAN（スキャン）ボタン、PDF（ピーディーエフ）ボタン、E- MAIL（Eメール）ボタンの4個のEZ（イージー）ボタンがあり、目的に合ったスキャンが簡単にできます。スキャナに原稿をセットし、EZボタンを押すだけで自動的にスキャンし、それぞれの機能を実行します。EZボタンはCanoScan Toolboxの設定でスキャンされるしくみになっています。

EZ（イージー）ボタン

COPY（コピー）ボタン .... 原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。

SCAN（スキャン）ボタン .... 原稿をスキャンし、画像編集（フォトレタッチ）ソフトArcSoft PhotoStudioに画像を表示します。

PDF（ピーディーエフ）ボタン ... 原稿をスキャンしてPDFファイルで保存し、Acrobat Readerに表示します。

E-MAIL（Eメール）ボタン .... 原稿をスキャンし、メールソフトの新規メッセージに画像を添付します。メール添付に適したファイル容量に設定されています。

PDFについて

PDF（Portable Document Format）とは、Adobe Acrobat Reader / Adobe Readerなどで表示・印刷できるファイル形式で、ファイル容量が小さく、文書と画像の管理に便利です。
このスキャナの［PDF］ボタンやCanoScan Toolboxの［PDF］ボタンを使うと、簡単にスキャン画像をPDF形式にして保存できます。
複数のページを1つのPDFファイルにしたり、Toolboxで作成したPDFファイルにページを追加したり、文字検索が可能なPDFファイルも作成できます。

- EZ ボタンを使うには、キヤノスキャンセットアップ CD-ROM から ScanGear CS、CanoScan Toolbox、ArcSoft PhotoStudio、Adobe Acrobat Reader がインストールされている必要があります。また、プリンタドライバ、E メールソフトがインストールされ、プリンタ、E メールが使用できる状態になっている必要があります。
- 上記の状態はインストール直後の初期設定の場合で、CanoScan Toolbox の設定値を変更すると、変わる場合があります。
- スキャン設定を変更する場合、スキャンが終わる前に［キャンセル］ボタンをクリックし、CanoScan Toolbox の画面で設定を変更します。詳しい設定方法については、CanoScan Toolbox メイン画面右上の ? （マニュアル表示ボタン）をクリックして「CanoScan Toolbox の使いかた」をご覧ください。

COPY（コピー）ボタン

プリンタで印刷します。

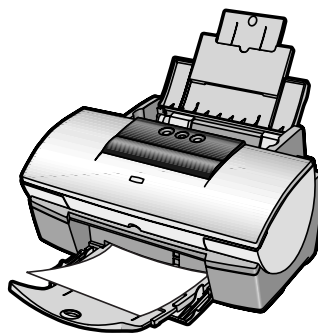
重要

あらかじめコンピュータにプリンタドライバがインストールされ、スキャナ、プリンタ、コンピュータが同時に使用できる状態になっていることが必要です。ネットワーク上のプリンタでは正常に印刷できないことがあります。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 [COPY] ボタンを押します。

▼ CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。

スキャンされた画像はプリンタで印刷されます。初期設定では、自動的に A4 サイズの用紙にプリントします。

SCAN（スキャン）ボタン

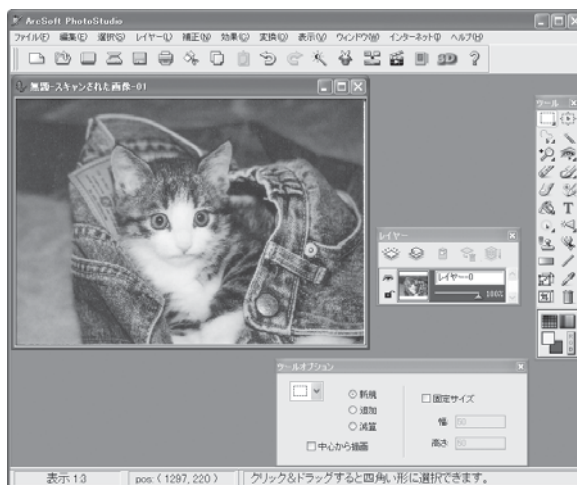
画像編集（フォトレタッチ）ソフトArcSoft PhotoStudioに画像を表示します。

1 スキャナに原稿をセットします。

2 [SCAN] ボタンを押します。

▼ CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。

画像がArcSoft PhotoStudioに表示されます。スキャンした画像の編集や保存ができます。

参考

ArcSoft PhotoStudio の使いかたについては、キヤノスキャンセットアップ CD-ROM 内の電子マニュアル「ArcSoft PhotoStudio マニュアル」をご覧ください。（電子マニュアルの見かた→ P.56）

PDF（ピーディーエフ）ボタン

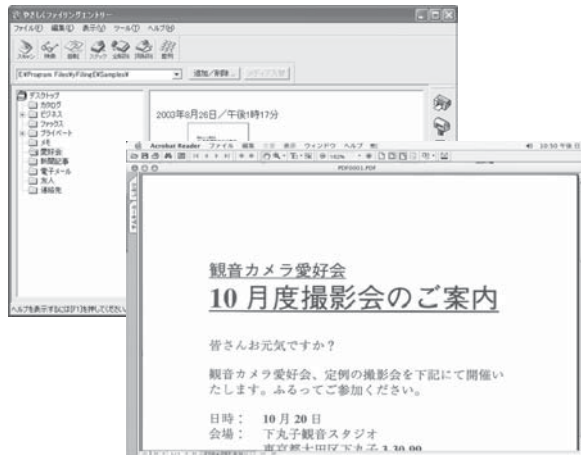
スキャンした画像をPDF文書として表示･保存します。

1 **スキャナに原稿をセットします。**

2 **[PDF] ボタンを押します。**

▼ CanoScan Toolboxの画面が自動的に表示され、スキャンがはじまります。

続けて複数のページをスキャンして 1 つの PDF ファイルにすることもできます。

画像が PDF ファイル形式で保存され、Acrobat Reader に表示されます。

E-MAIL（Eメール）ボタン

Eメールの新規メッセージに画像ファイルを添付します。

あらかじめメールソフトがインストールされ、送信できる状態になっていることが必要です。使用できるメールソフトは以下のものです。

Windows Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger

Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage

＊ Windows で動作しない場合、メールソフトの MAPI 設定が有効になっているかご確認ください。MAPI 設定の方法については、各メールソフトの説明書をお読みください。

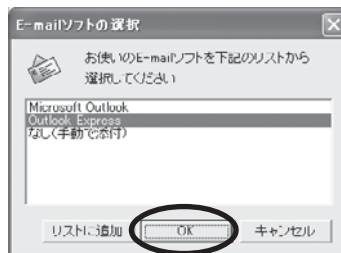
1 **スキャナに原稿をセットします。**

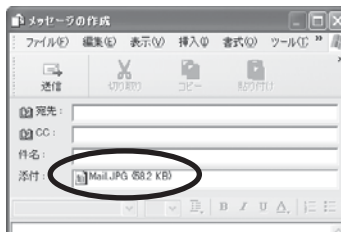
2 **[E-MAIL] ボタンを押します。**

▼ E-mail ソフトの選択画面が表示されます。

3 **使用するメールソフトを選択し、[OK] をクリックします。（初回のみ）**

▼ メールソフトが起動し、新規メッセージ画面が表示されます。スキャンされた画像は、添付ファイルとして、新規メッセージに添付されます。

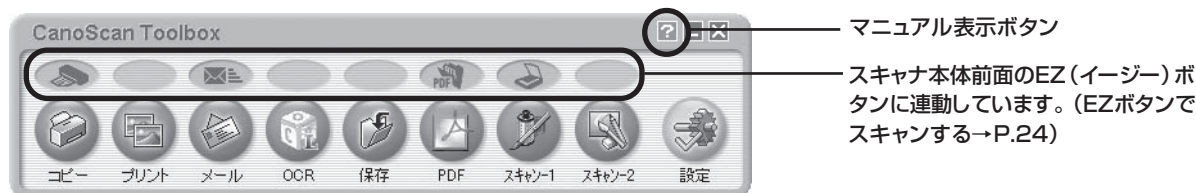
E-mailソフトの選択画面

4 **メールの宛先、タイトル、本文などを入力し、送信します。**

メールソフトの新規メッセージ画面

[SCAN] [PDF] [E-MAIL]の各ボタンでスキャンした画像の保存先は、CanoScan Toolboxをインストールした直後の初期設定では、次のようになります。

Windows ［マイドキュメント］－［マイピクチャ］－［2005-01-15］などの今日の日付フォルダの中

 Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures（ピクチャ）］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの今日の日付フォルダの中

CanoScan Toolboxでスキャンする

付属のユーティリティソフトCanoScan Toolboxを使うと、メイン画面の機能別のボタンを押すだけで、画像をスキャンし、保存や印刷、Eメールへの添付、PDFの作成などが簡単にできます。また、原稿台（A4）より大きなサイズの原稿（B4やA3）を分割してスキャンし、1枚の画像に合成することもできます。

CanoScan Toolboxのボタンの機能

コピーボタン　原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。35mmフィルムもスキャンできます。

プリントボタン　紙焼き写真や35mmフィルムをスキャンし、「印刷レイアウト画面」で用紙や印刷方法、大きさや位置などを決めて印刷します。写真の焼き増しや引き伸ばしが簡単できれいにできます。

メールボタン　原稿をスキャンし、画像をメールソフトの新規メッセージに添付します。ファイルの種類や保存先などの設定ができます。（使用できるEメールソフト→P.26）

OCRボタン　文字原稿をスキャンし、付属のOCRソフト読取革命Liteでテキストデータとして読み取ります。テキストデータはワープロソフトなどで編集できます。出力解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。

保存ボタン　原稿をスキャンし、画像を指定された保存先へ保存します。出力解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。35mmフィルムもスキャンできます。

PDFボタン　スキャンした画像を、PDF文書として保存します。出力解像度や原稿サイズ、保存先などが設定できます。付属のPDFファイル表示ソフトAdobe Acrobat Readerで管理します。

スキャン-1ボタン

スキャン-2ボタン　原稿をスキャンし、画像を付属のアプリケーションソフトへ渡します。初期設定では、[スキャン-1]ボタンにArcSoft PhotoStudioが登録されています。35mmフィルムもスキャンできます。

設定ボタン　スキャナ本体のEZボタンを、Toolboxの別の機能に対応させることができます。

- 各ボタンのアイコン表示は、Windowsの場合です。Macintoshでは一部表示が異なります。

> **重要**
> - これらの機能を使うには、キヤノスキャンセットアップCD-ROMからすべてのアプリケーションソフトがインストールされていることが必要です。
> - [コピー] ボタンと[プリント]ボタンを使うには、スキャナとプリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。

CanoScan Toolboxのスキャン手順

1 CanoScan Toolboxを起動します。

デスクトップのCanoScan Toolboxアイコンをダブルクリックするか、次の操作で起動します。

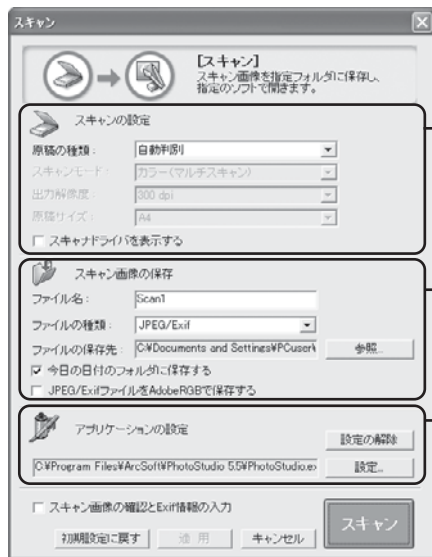
Windows ［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］から［Canon］→［CanoScan Toolbox 4.9］→［CanoScan Toolbox 4.9］の順に選択します。

Macintosh Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内の［CanoScan Toolbox 4.9］フォルダを開き、［CanoScan Toolbox X］アイコンをダブルクリックします。

▼ CanoScan Toolboxのメイン画面が表示されます。

2 CanoScan Toolboxのメイン画面で、目的のボタン（コピー、プリント、メール、OCR、保存、PDF、スキャン-1、スキャン-2のいずれか）を押します。

▼ 設定画面が表示されます。
初期設定で各ボタンの機能は適切な設定になっていますが、用途に応じてさまざまな設定ができます。

［スキャン-1］の設定画面の例（Windows）

- **設定画面の内容は機能やコンピュータの種類によって異なります。**
- **設定画面や設定項目の詳細は、メイン画面右上の ? （マニュアル表示ボタン）をクリックして「CanoScan Toolbox の使いかた」をご覧ください。**

3 ［スキャン］（コピーのときは［コピー］）ボタンをクリックします。

▼ スキャンが始まり、各ボタンの機能を実行します。

7 ScanGear CSを使う

ScanGear CSについて

ScanGear CSは、スキャンするために必要なソフトウェア（プリンタドライバ）です。TWAIN（トウェイン）ドライバとも呼ばれています。ArcSoft PhotoStudioなどのTWAIN対応のアプリケーションソフトや、ScanGear Starterから呼び出して使います。
ScanGear CSには、3ステップで手軽にスキャンできる「基本モード」と、詳細な設定でスキャンできる「拡張モード」、複数の原稿を一度にスキャンできる「マルチスキャン」があります。

参考

ScanGear CSの使いかたの詳細は、電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」をご覧ください。（電子マニュアルの見かた→P.56）

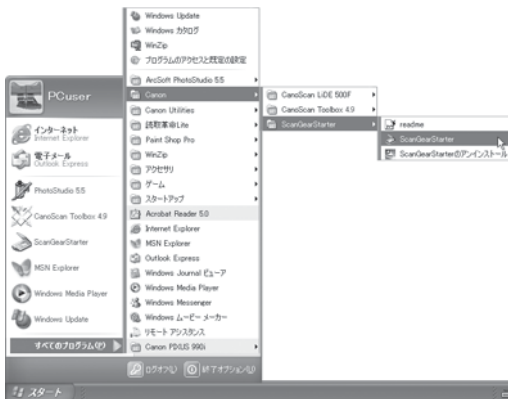
アプリケーションソフトからの呼び出しかた

ArcSoft PhotoStudioから呼び出す場合の例（P.17～P.18）
① アプリケーションソフトを起動します。
② ［ファイル］メニューの［ソース選択］でお使いのスキャナを選択します。
③ ［ファイル］メニューの［取り込み］や、ツールバーの［取り込み］アイコンを選択します。
▼ ScanGear CSの画面が表示されます。

＊起動の方法は、アプリケーションソフトによって異なります。

ScanGear Starterからの呼び出しかた

Windows

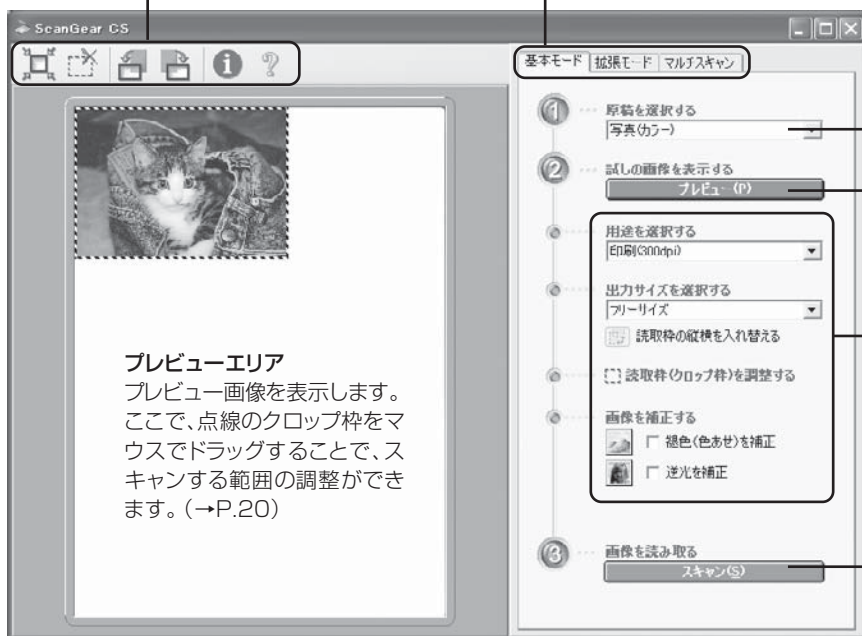
［スタート］メニュー→［（すべての）プログラム］→［Canon］→［ScanGearStarter］→［ScanGearStarter］を選択します。
▼ScanGear CSの画面が表示されます。

Macintosh

Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダを開き、［ScanGear Starter 1.0J］フォルダ内の［ScanGear Starter 1.0J］アイコンをダブルクリックします。
▼ScanGear CSの画面が表示されます。

基本モード画面

基本的な項目だけを設定して、スキャンするモードです。
3ステップの簡単な設定ですぐにスキャンできるので、初心者の方はこのモードをお使いいただくと便利です。フィルムスキャンの設定方法はP.42～44をご覧ください。

ツールバー
スキャン範囲の設定（オートクロップ）や削除、画像の回転、情報やマニュアルの表示ができます。

［基本モード/拡張モード/マルチスキャン］タブ
このタブをクリックして基本モード、拡張モード、マルチスキャンを切り換えます。

① 原稿を選択する
次の項目が選択できます。
写真（カラー）、雑誌（カラー）、新聞（白黒）、文書（グレー）

② 試しの画像を表示する－［プレビュー］
プレビュー（試しのスキャン）を行います。

必要に応じて用途や出力サイズの設定、褪色や逆光の補正をします。読み取り枠（クロップ枠）の変更はプレビューエリアで行います。

プレビューエリア
プレビュー画像を表示します。ここで、点線のクロップ枠をマウスでドラッグすることで、スキャンする範囲の調整ができます。（→P.20）

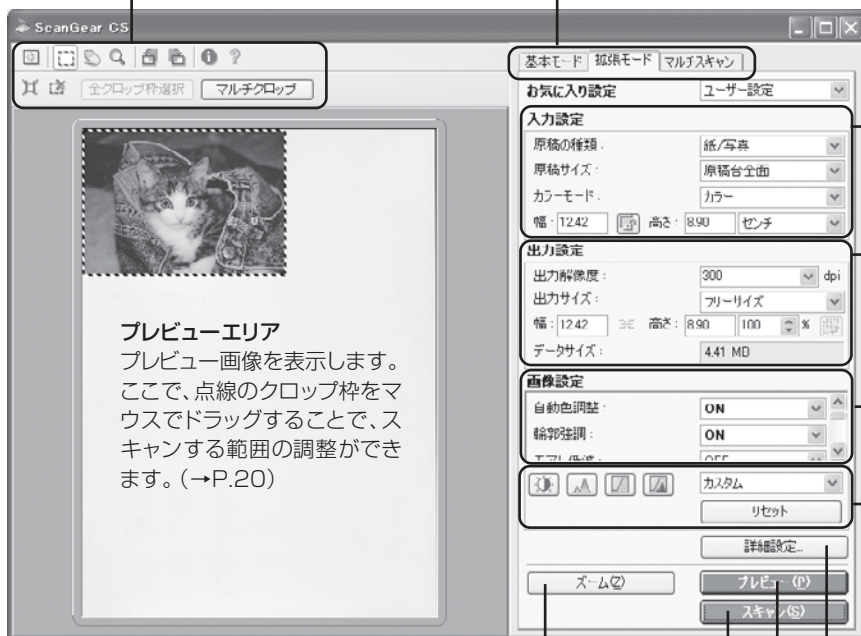
③ 画像を読み取る－［スキャン］
原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

各ボタンの機能や設定項目の詳細については、ツールバーの ? （マニュアル表示ボタン）をクリックして「ScanGear CSの使いかた」をご覧ください。

拡張モード画面

詳細な設定をしてから、スキャンするモードです。
スキャナや、スキャンした後の画像データの取り扱いに慣れた方、より細かい画像調整をお求めの方は、このモードをお使いください。フィルムスキャンの設定方法はP.46をご覧ください。

ツールバー
クロップ、オートクロップ、マルチクロップ、クロップの解除、ズーム、回転、情報やマニュアルの表示ができます。

[基本モード/拡張モード/マルチスキャン]タブ
このタブをクリックして基本モード、拡張モード、マルチスキャンを切り換えます。

プレビューエリア
プレビュー画像を表示します。ここで、点線のクロップ枠をマウスでドラッグすることで、スキャンする範囲の調整ができます。(→P.20)

入力設定
スキャンする原稿の種類とサイズ、カラーモード等を設定します。

出力設定
出力解像度、出力サイズ、倍率を設定します。スキャンを行う画像のデータサイズ(容量)も表示されます。

画像設定
ごみ傷低減、逆光補正、褪色補正などの設定およびキャリブレーションの設定ができます。

画像補整ボタン
明るさ・コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブの調整ができます。設定を保存しておくこともできます。

[詳細設定]ボタン
スキャナの動作に関する詳細な設定を行います。

[ズーム]ボタン
プレビューエリアで選択されている部分を拡大してプレビューします。

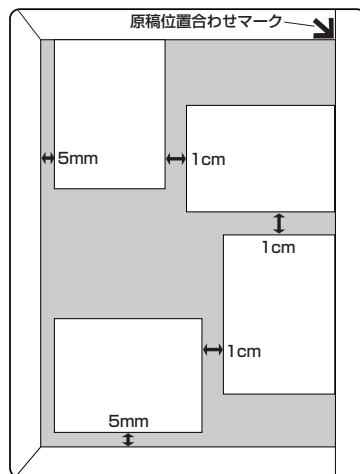
[プレビュー]ボタン
プレビューを行います。

[スキャン]ボタン
原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

各ボタンの機能や設定項目の詳細については、ツールバーの ? (マニュアル表示ボタン)をクリックして「ScanGear CSの使いかた」をご覧ください。

マルチスキャン（複数の原稿を一度でスキャンする）

複数の原稿を同時にスキャンし、別々のファイルとして保存することができるモードです。
原稿台に置ける原稿は10枚までです。（原稿の置きかたについては下図をご覧ください。）

- 原稿位置合わせマークを右上にして原稿台の左側と下側の縁には原稿を読み取れない部分があります。原稿台の左側と下側では原稿を縁から5mmほど離してセットしてください。
- 全体が白っぽい原稿、周囲が白っぽい原稿では、正しく機能しないことがあります。
- 写真など四角い原稿のみをサポートしています。丸形やいろいろな形に切り抜いた写真などは正しく認識されません。
- マルチスキャンした画像を保存するときは、それぞれにファイル名をつけることができます。
- アプリケーションソフトによっては、複数の画像を同時に受け取ることができないものがあり、複数の原稿が原稿台全体の1枚の画像として渡されたり、1枚目だけしか渡されない場合があります。ArcSoft PhotoStudioなどマルチスキャンできるアプリケーションソフトでスキャンしてください。

原稿の傾きが10°以内は自動補正されます。

［基本モード/拡張モード/マルチスキャン］タブ
このタブをクリックして基本モード、拡張モード、マルチスキャンを切り換えます。

原稿を選択する
次の項目が選択できます。

写真/名刺（カラー）、写真/名刺（グレー）、名刺（白黒）、写真や絵のある印刷物（カラー）、写真や絵のある印刷物（グレー）

用途を選択する
次の項目が選択できます。

Web、壁紙（75dpi）、画像管理（150dpi）、写真印刷、名刺管理（300dpi）、写真印刷-引き伸ばし（600dpi）

スキャン結果を確認する
ここをクリックしてチェックマークを付けておくと、「スキャン画像」にスキャンした画像を表示します。

［スキャン］ボタン
マルチスキャンを実行します。

原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

［マニュアル表示］ボタン
このボタンをクリックすると、「スキャナ操作ガイド」を表示します。

各ボタンの機能や設定項目の詳細については、?（マニュアル表示ボタン）をクリックして「ScanGear CSの使いかた」をご覧ください。

解像度と保存容量について

解像度とは、画像の「きめの細かさ」です。解像度を高く(数字を大きく)すると、それだけきめの細かい画像になりますが、解像度が高いほど、スキャナからの読み込みや画像処理に時間がかかります。また画像を保存するための保存容量も大きくなります。

保存容量の例:[カラーA4サイズの場合]
•出力解像度75dpiの場合 :約1.6MB　•出力解像度1200dpiの場合:約400MB

解像度のめやす

拡張モードでは「出力サイズ」(出力したい用途)によって解像度を設定できるようになっています。出力サイズは大きく3つの用途に分けられます。

① **「はがき」**などの印刷を用途とした設定を選択した場合 **[300dpi]**
② **「640×480ピクセル」**などの画面表示を用途とした設定を選択した場合 **[150dpi]**
※①と②は自動的に出力解像度の初期値が設定されます。
③ **「フリーサイズ」**の場合のめやすは以下のとおりです。「原稿の種類」は[紙/写真]、「倍率」は[100%]の場合です。

原稿の種類	使用目的	カラーモード	出力解像度
カラー写真	焼き増しをする(プリンタで印刷する)	カラー	300dpi
	絵はがきを作る	カラー	300dpi
	パソコンに保存する	カラー	75~300dpi
	ホームページで使う/Eメールに添付する	カラー	75~150dpi
モノクロ写真	パソコンに保存する	グレースケール	75~300dpi
	ホームページで使う/Eメールに添付する	グレースケール	75~150dpi
文字原稿	コピーする	カラー/グレースケール/白黒	300dpi
	Eメールに添付する	カラー/グレースケール/白黒	300dpi
	OCRで文字を読み取る	テキスト(OCR)	300~400dpi

詳しくは、電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」の「もっと上手にスキャンする」の「解像度の決めかた」や「解像度とデータ容量」をお読みください。

ScanGear Starterについて

ScanGear Starterは、ScanGear CSを直接呼び出すためのソフトウェアです。Windowsの場合は[スタート]メニュー、Macintoshは[ScanGear Starter]アイコンから起動します。
ScanGear CSをScanGear Starterから起動した場合、ScanGear CSを終了するときに、スキャンした画像の保存ができます。
画像編集ソフトなどのアプリケーションソフトを開かずにスキャンできるため、画像を編集する必要がないときなど、すぐにスキャンの操作ができます。

参考

ScanGear StarterはScanGear CSをインストールすると一緒にインストールされます。

ScanGear Starterの操作手順

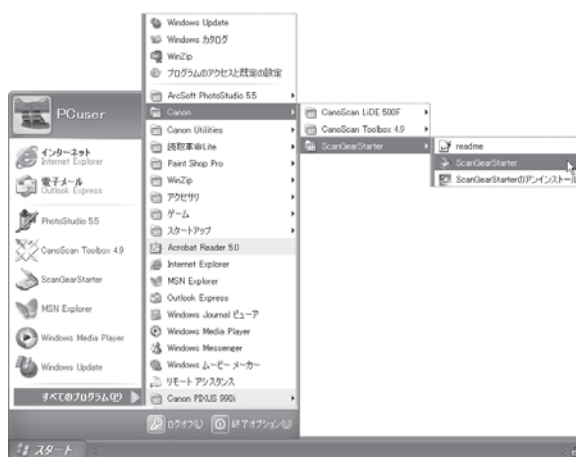
1 次の操作でScanGear Starterを起動します。

Windows

Windowsの[スタート]メニュー→[(すべての)プログラム]→[Canon]→[ScanGearStarter]→[ScanGearStarter]を選択します。

Macintosh

Macintosh HDの[アプリケーション]フォルダを開き、[ScanGear Starter 1.0J]フォルダ内の[ScanGear Starter 1.0J]アイコンをダブルクリックします。

▼ ScanGear CS の画面が表示されます。

2 ScanGear CSで原稿をスキャンします。

スキャンの方法については、「5. スキャンする-1（動作の確認）」（→P.17～21）の手順1～8を参照してください。

3 閉じるボタン ☒（Windows）または ⊗（Macintosh）をクリックしてScanGear CSを閉じます。

▼スキャン画像の保存画面が表示されます。

4 ファイルの種類や保存先を指定して［保存］ボタンをクリックします。

初期設定では、以下のフォルダにスキャンした日付のフォルダが作られ、指定したファイルの種類で保存されます。

Windows

［マイドキュメント］－［マイピクチャ］－［2005-01-15］などの今日の日付フォルダの中

Macintosh

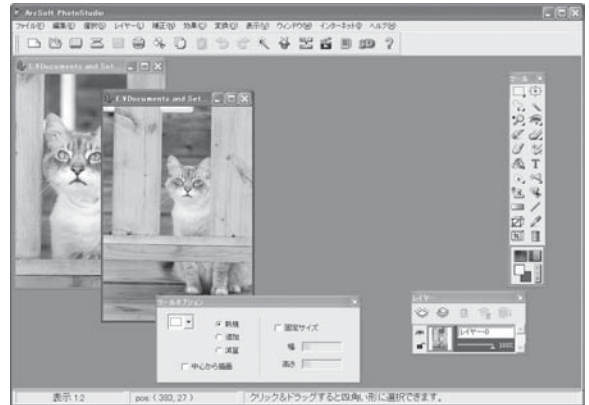
Macintosh HDの［ユーザ］－［起動中のユーザ名（家の形のアイコン）］－［Pictures（ピクチャ）］－［My Pictures］－［2005-01-15］などの今日の日付フォルダの中

8 付属のアプリケーションソフト

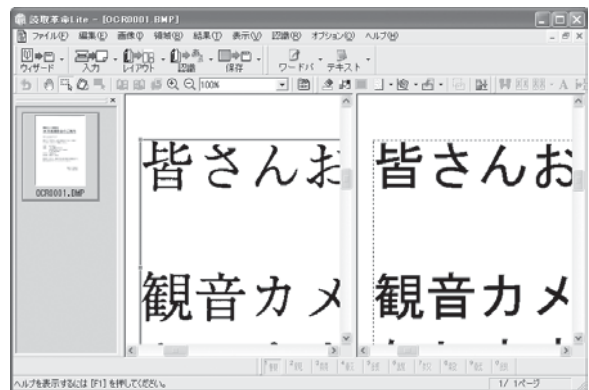
このスキャナには、いろいろなアプリケーションソフトが付属しています。ここでは、これらのソフトウェアの機能の概要を紹介します。起動方法やスキャン方法については、電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」の「アプリケーションソフトについて」や各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご覧ください。(電子マニュアルの見かた→P.56)

画像編集(フォトレタッチ)ソフト　PhotoStudio

画像加工と編集用ツールのほか、色調補正や特殊効果など、画像編集に必要な機能を備えた画像編集ソフトです。また、画像のアルバム管理、複数回の取り消し/やり直し、複数レイヤー、編集可能なテキスト、マクロ、バッチ処理などのハイエンドな機能も充実しています。

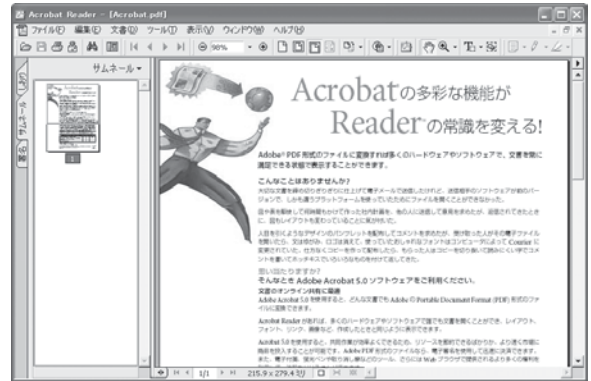
スキャナ前面のEZボタンのSCANボタンまたはCanoScan Toolboxの[スキャン-1]ボタンから、PhotoStudioに画像を取り込むことができます。(インストールした直後の初期状態の場合)

活字カラーOCRソフト　読取革命Lite

読取革命Liteは、活字書体で印刷された原稿をスキャナまたは画像ファイルから読み取り、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。認識結果のテキストを保存したり他のアプリケーションに転送するだけでなく、原稿のレイアウト・表・罫線・地図や写真等の画像を、そのまま文書に活かすことができます。

CanoScan Toolboxの[OCR]ボタンから、読取革命Liteに画像を取り込むことができます。(インストールした直後の初期状態の場合)

PDFファイル表示ソフト　Adobe Acrobat Reader

Adobe Acrobat Reader は、PDF(Portable Document Format)を表示、印刷するためのソフトウェアです。PDF形式の電子マニュアルを読むときに必要です。（→P.59）

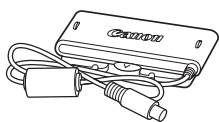
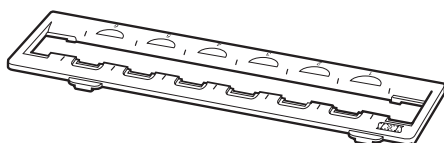
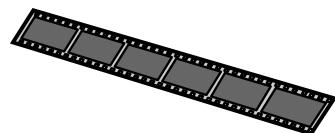
スキャナ前面のEZボタンのPDFボタンまたはCanoScan Toolboxの[PDF]ボタンから画像を取り込み、PDF化してAdobe Acrobat Readerに表示することができます。（インストールした直後の初期状態の場合）

重　要

各ソフトウェアについてのお問い合せ先は、裏表紙の「お問い合わせ窓口」をご覧ください。

9 フィルムをスキャンする

このスキャナでは、35mmスリーブフィルムを1コマずつスキャンすることができます。フィルムをスキャンするときは、以下の手順で操作してください。

フィルムスキャンに用意するもの

フィルム用光源ユニット

フィルムガイド

35 mmスリーブフィルム

※　35mmマウントフィルムには対応していません。

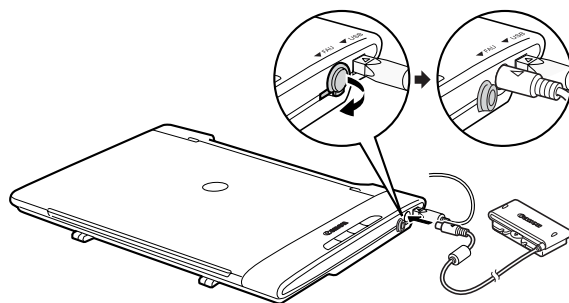
フィルム用光源ユニットやフィルムガイドを万一紛失したり破損した場合は、お買い求めの販売店でお取り寄せいただけます。

フィルムスキャンの準備

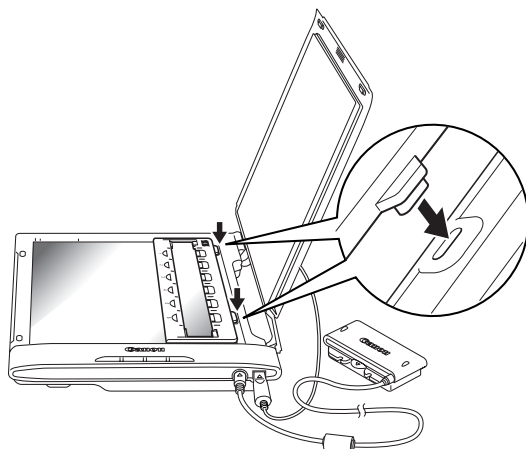
重要

- フィルムガイドを装着する前に、スキャナの原稿台ガラスのごみや汚れをきれいに清掃してください。ガラス面のごみや汚れは、画質に影響を及ぼしたり、フィルムを傷つける場合があります。
- フィルムは、汚れや指紋がつかないように、ふちを指先ではさむようにして持ってください。フィルムにホコリがついていると、スキャンした画像に現れます。フィルムのホコリはブロアブラシなどできれいに吹き飛ばしてください。

1 フィルム用光源ユニットのケーブルをスキャナのFAUコネクタに接続します。

スキャナのFAUコネクタ部にはゴムキャップが付いています。ケーブルを接続するときはゴムキャップを外し、スキャナとプラグに刻印されている▲マークを合わせて差し込みます。

2 **原稿台カバーを開き、フィルムガイドをスキャナにセットします。**

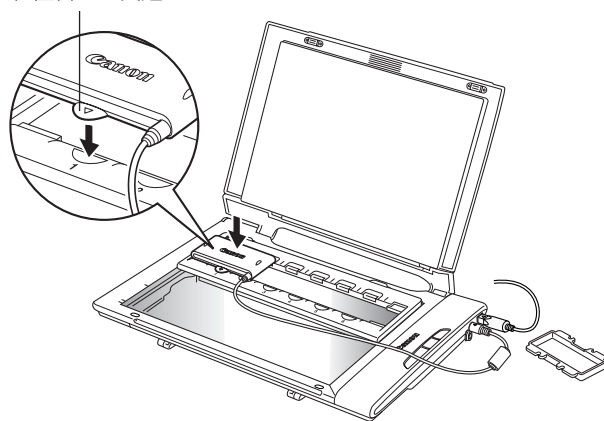
フィルムガイドの２つの爪を原稿台の穴に合わせてセットします。

重 要

原稿台カバーを開くときは、カバーが完全に止まるところまで手を添えて開いてください。

キャリブレーション（初めてのとき）

初めてフィルムをスキャンするときは、キャリブレーションが必要です。キャリブレーションとは、正しい色合いを調整するための作業で、フィルムなしで行う操作です。

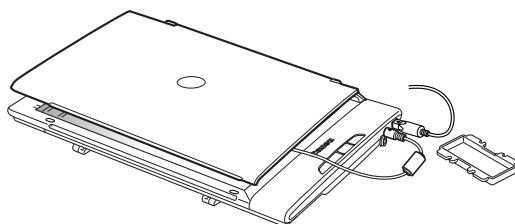
1 **原稿台カバーを開き、フィルム用光源ユニットのキャップをはずしてフィルムガイドの1コマ目へ静かに置きます。**

フィルム用光源ユニットの位置合わせ突起がフィルムガイドに合う向きに置いてください。

重 要

- フィルム用光源ユニットの発光面にごみや汚れまたは傷がつくと画質に影響を及ぼしたり、フィルムを傷つける場合があります。
- はずしたキャップはなくしたり、内側を汚したりしないように注意してください。

2 **原稿台カバーを静かに閉じます。**

重 要

原稿台カバーは原稿台から浮いている状態です。カバーを無理に押しつけたり、上から手を乗せたりしないように注意してください。

3 ArcSoft PhotoStudioを起動します。

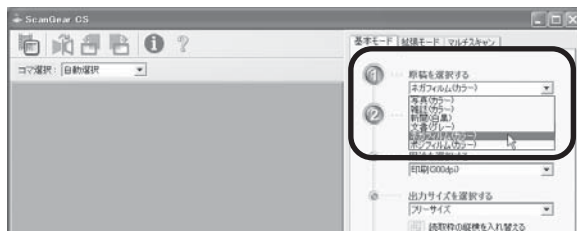
Windows Windowsの［スタート］→［(すべての）プログラム］→［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択して、ArcSoft PhotoStudioを起動します。

Macintosh Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダを開き、［PhotoStudio］フォルダ内の［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックして、ArcSoft PhotoStudioを起動します。
詳しくはP.17～18をご覧ください。

4 ScanGear CSを起動します。

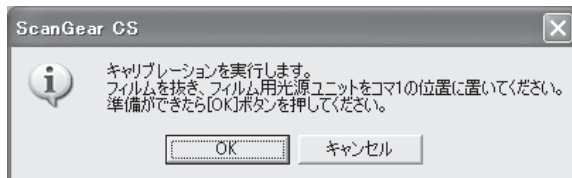
（取り込みアイコン）をクリックするか、［ファイル］メニューの［取り込み］を選択します。
詳しくはP.18をご覧ください。
▼ScanGear CSが起動します。

5 ① 原稿を選択する。

スキャンするフィルムの種類に合わせて、［ネガフィルム（カラー)］または［ポジフィルム（カラー)］を選択します。

6 ② 試しの画像を表示する

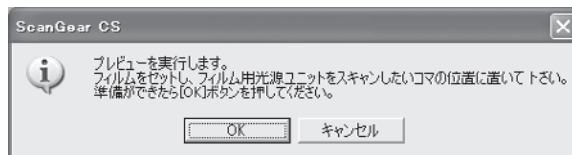
［プレビュー］ボタンをクリックします。

7 「キャリブレーションを実行します。」が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

▼キャリブレーションが始まります。
キャリブレーションには約1～2分かかります。メッセージが消えたら、キャリブレーションの操作は終わりです。

> **重要** スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。

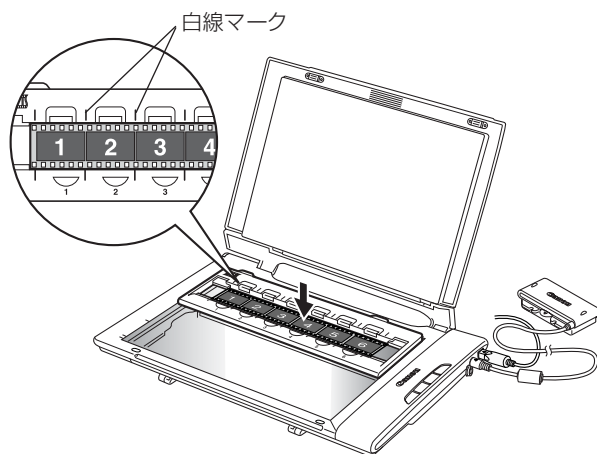
8 続けてフィルムをスキャンするには、次の手順で行ってください。

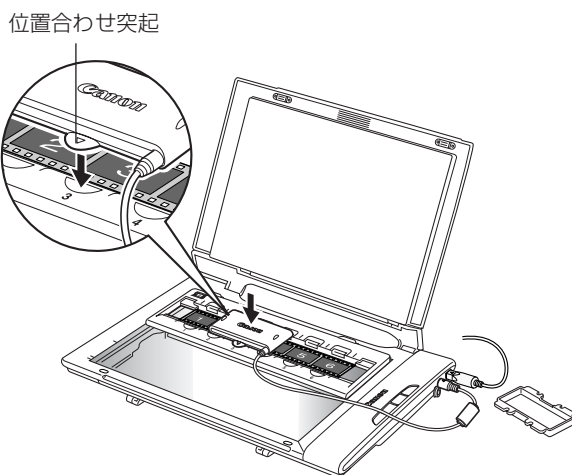
① P.41の手順1～3でフィルムをセットします。
② ［OK］ボタンをクリックします。
プレビューが始まります。
③ P.43の手順8以降でスキャンします。

プレビューを実行しないときは［キャンセル］ボタンをクリックします。

フィルムをスキャンする

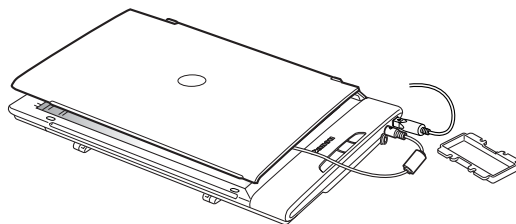
フィルムをスキャンし、画像をアプリケーションソフトに取り込むときは、次の手順で操作します。ここでは、ArcSoft PhotoStudioとScanGear CSの基本モードでの操作を例に説明します。

1 フィルムガイドにフィルムをセットします。

フィルムのおもて面(画像が正しく見える面)を上にし、フィルムガイドの白線マークの位置にフィルムのコマとコマの間が合うようにセットしてください。

2 フィルム用光源ユニットのキャップをはずし、スキャンしたいコマへ静かに置きます。

フィルム用光源ユニットの位置合わせ突起がフィルムガイドに合う向きに置いてください。

フィルム用光源ユニットは、スキャンしたいコマの真上から静かに置いたり、持ち上げてください。フィルム用光源ユニットをフィルムガイドにセットした状態で動かすと、フィルムに傷がつくことがあります。

3 原稿台カバーを静かに閉じます。

原稿台カバーは原稿台から浮いている状態です。カバーを無理に押しつけたり、上から手を乗せたりしないように注意してください。

4 ArcSoft PhotoStudioを起動します。

Windows Windowsの［スタート］→［(すべての）プログラム］→［ArcSoft PhotoStudio 5.5］→［PhotoStudio 5.5］を選択して、ArcSoft PhotoStudio を起動します。

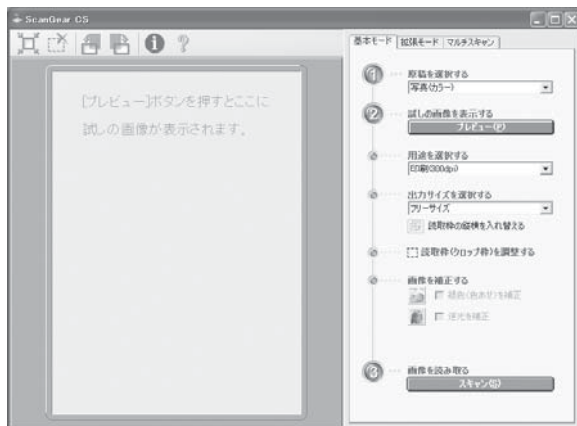
Macintosh ［アプリケーション］フォルダ内、［PhotoStudio］フォルダ内の［PhotoStudio］アイコンをダブルクリックして、ArcSoft PhotoStudio を起動します。

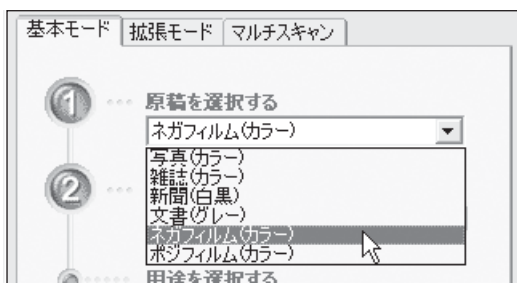
詳しくは P.17 ～ 18 をご覧ください。

5 ScanGear CSを起動します。

（取り込みアイコン）をクリックするか、［ファイル］メニューの［取り込み］を選択します。

詳しくは P.18 をご覧ください。

▼ ScanGear CS が起動します。

6 ① 原稿を選択する

スキャンするフィルムの種類に合わせて、［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］を選択します。

7 ② 試しの画像を表示する

［プレビュー］ボタンをクリックします。

▼ プレビューが終わると、スキャンした画像がプレビューエリアに表示されます。

重要

スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。

8 必要があれば次の設定をします。

用途を選択する

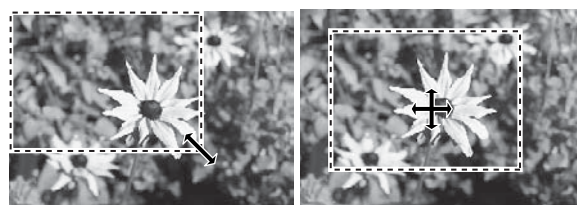
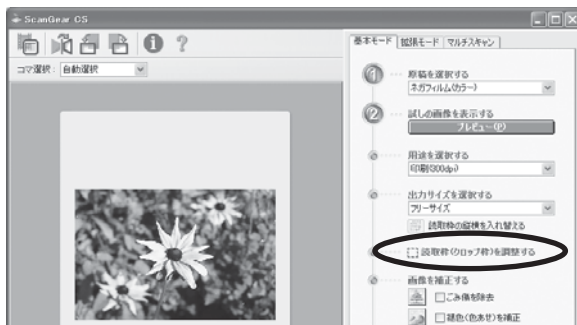
スキャン画像の用途により、[印刷（300dpi）] または［画面表示（150dpi）］を選択します。

出力サイズを選択する

スキャンするときの大きさを決めます。

- 用途で［印刷（300dpi）］を選択すると、L判、2L判、はがき、A4などの用紙サイズに拡大／縮小してスキャンできます。
- 用途で［画面表示（150dpi）］を選択すると、コンピュータのディスプレイサイズやデジタルカメラのサイズに合わせたピクセル数でスキャンできます。
- ［フリーサイズ］は、L判相当に拡大してスキャンします。

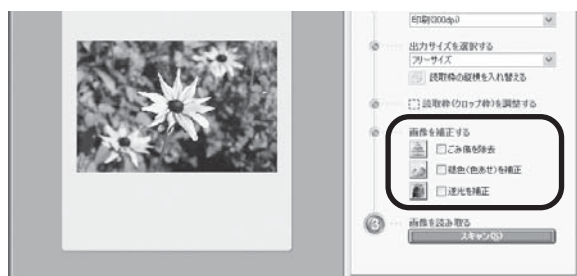
読取枠（クロップ枠）を調整する

プレビュー画像上でマウスポインタをドラッグすると点線の枠（クロップ枠）が表示されます。クロップ枠の大きさや位置は、点線上や内側にマウスポインタを合わせ、縦横方向や斜め方向にドラッグして調整できます。

拡大・縮小

移動

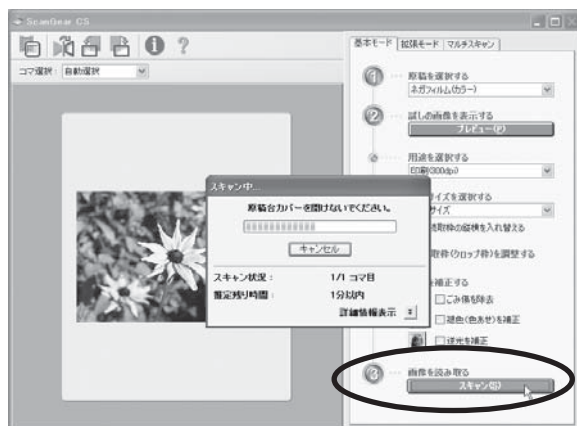
画像を補正する

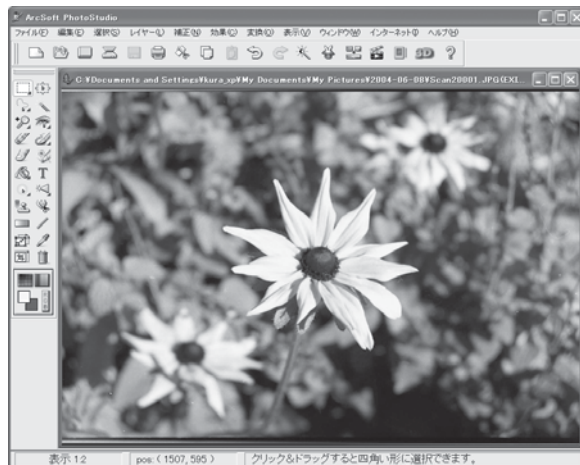
傷やホコリがあるフィルム、色あせたフィルム、逆光で撮影されたフィルムをスキャンするときに画像の補正ができます。

補正するときは、□（チェックボックス）をクリックしてチェックマークを付けます。

9 画像を読み取る

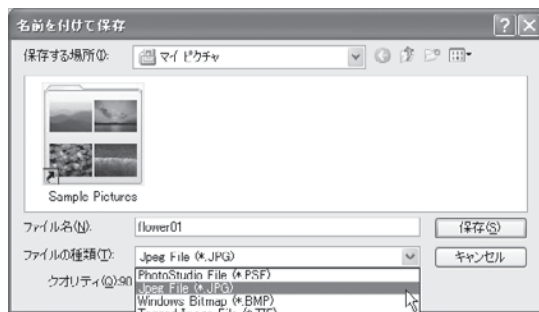
［スキャン］ボタンをクリックします。

▼本スキャンが始まり、原稿を読み取ります。

スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。

10 読み取りが終了したら、画面右上の閉じるボタン ☒（Windows）または ⊗（Macintosh）をクリックし、ScanGear CSを閉じてください。

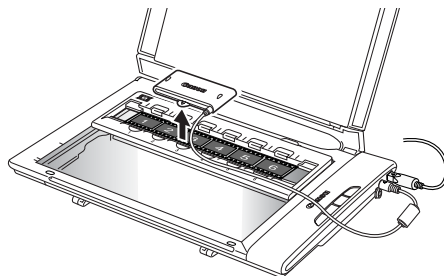
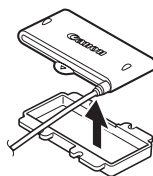
▼アプリケーションソフトArcSoft PhotoStudioの画面に、読み取った画像が表示されます。

11 画像を保存します。

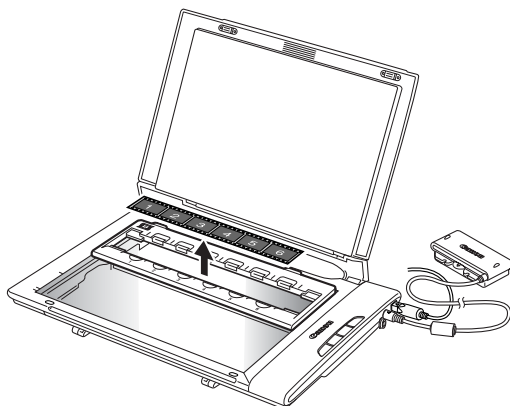
［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択します。

「名前を付けて保存」画面が表示されたら、ファイルの種類を選択し、ファイル名と保存する場所を指定して［保存］ボタンをクリックします。

- ファイルの種類などの詳細については、電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」をご覧ください。
- 画面の表示内容は、お使いのコンピュータによって若干違います。
- フィルムスキャンがうまく動作しなかった場合は、「うまく動作しないときは」の「フィルムスキャンのトラブル」をご覧ください。（→ P.54 ～ 55）
- プレビュー画像の色合いが原稿と大きく違ったり、白の部分に色が付くようになってきた場合は、「うまく動作しないときは」の「スキャンのトラブル」をご覧ください。（→ P.53）

フィルムスキャンが終わったら

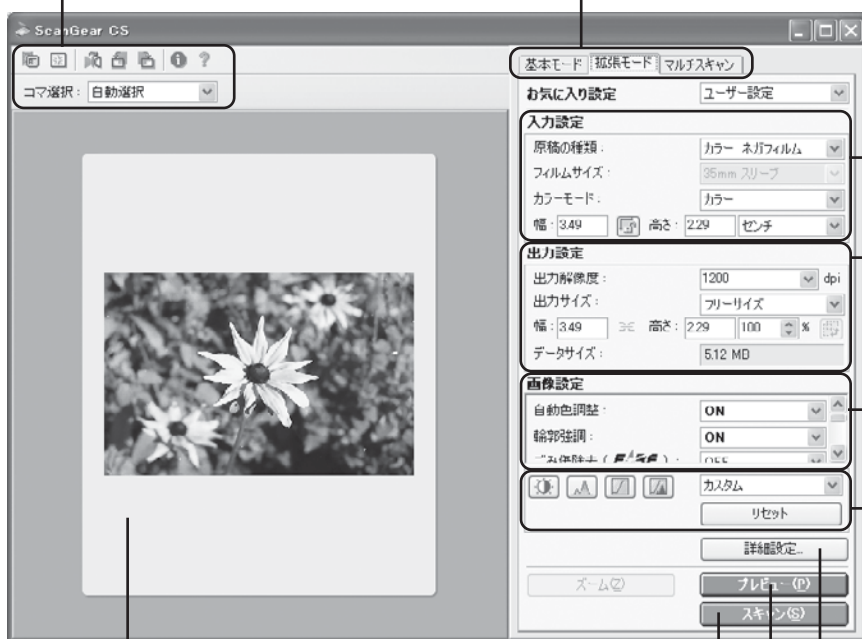
フィルム用光源ユニットの発光面にごみや汚れまたは傷がつくと画質に影響を及ぼしたり、フィルムを傷つける場合があります。フィルムのスキャンが終わったら、かならずキャップをし、安全な場所に保管しておいてください。

1 **原稿台カバーを開き、フィルム用光源ユニットを真上に持ち上げてはずします。**

2 **フィルム用光源ユニットの発光面にキャップを取り付けます。**

3 **フィルムとフィルムガイドを原稿台から取り除き、安全な場所に保管します。**

フィルムを長時間原稿台に置いておくと、フィルムを傷めるおそれがあります。

拡張モードのフィルムスキャン

フィルムを詳細な設定をしてからスキャンするモードです。
スキャナや、スキャンした後の画像データの取り扱いに慣れた方、より細かい画像調整をお求めの方は、このモードをお使いください。また、モノクロフィルムをスキャンするときはこのモードでスキャンします。紙や写真などの原稿の設定については、P.31をご覧ください。

ツールバー
サムネイルの表示/非表示、プレビュー画像のクリア、画像の反転や回転、情報やマニュアルの表示、スキャンするコマの指定ができます。

[基本モード/拡張モード] タブ
このタブをクリックして基本モード、拡張モードを切り換えます。フィルムのスキャンではマルチスキャンはできません。

入力設定
スキャンするフィルムの種類、カラーモード等を設定します。

出力設定
出力解像度、出力サイズ、倍率を設定します。スキャンを行う画像のデータサイズ（容量）も表示されます。

画像設定
ごみ傷除去、逆光補正、褪色補正などの設定およびキャリブレーションの設定ができます。

画像補整ボタン
明るさ・コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブの調整ができます。設定を保存しておくこともできます。

プレビューエリア
プレビュー画像を表示します。ここで、点線のクロップ枠をマウスドラッグすることで、スキャンする範囲の調整ができます。

[詳細設定] ボタン
スキャナの動作に関する詳細な設定を行います。

[プレビュー] ボタン
プレビューを行います。

[スキャン] ボタン
原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

参考

各ボタンの機能や設定項目の詳細については、ツールバーの ?（マニュアル表示ボタン）をクリックして「ScanGear CS の使いかた」をご覧ください。

解像度と拡大率、データ容量について

スキャナドライバScanGear CSの「拡張モード」でフィルムをスキャンする場合、初期設定では「出力サイズ」が[フリーサイズ]、「出力解像度」が[1200dpi]、「倍率(%)」は[100%]に設定されています。このままの設定では、フィルムのコマと同じ大きさの画像でスキャンされますので、ご注意ください。

フィルムをL判などに拡大するときには、「出力サイズ」で目的のサイズを選択してください。

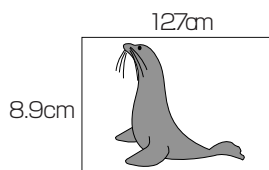
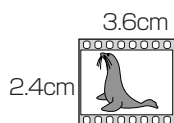
「出力サイズ」で印刷目的の項目(名刺、L判など)を選択すると「出力解像度」は[300dpi]に、画面表示目的の項目(128x128 ピクセルなど)を選択すると「出力解像度」は[150dpi]に変わります(初期設定)。
このとき「倍率(%)」は、クロップされた範囲と出力サイズの大きさから自動的に設定されます。印刷目的や画面表示目的の項目に設定すると、出力解像度の変更はできますが、倍率を変更することはできません。

35mmフィルムをL判に拡大するしくみ

3.6cm

2.4cm

12.7cm

8.9cm

ScanGear CSの設定
出力サイズ:L判
出力解像度:300dpi

→ 実際にスキャンする解像度:約1200dpi
(= 300dpi x 約4倍)

スキャン後の解像度:300dpi
データ容量:4.51MB

重要

実際にスキャンできる解像度(入力解像度)は、出力解像度×倍率になります。出力解像度を大きくすると、読み込みに時間がかかり、またデータの容量も大きくなりますのでご注意ください。
データの容量は「データサイズ」に表示されます。データの容量が大きくなる場合、「データサイズ」は赤字で表示され、また、[スキャン]ボタンをクリックしたときに、警告メッセージが表示されます。

保存容量のめやす(35mmカラーフィルムをL判で印刷する例)

出力解像度と出力サイズの設定	倍率	実際にスキャンする解像度	データ容量
300dpi,L判	約 4倍	約1200dpi	4.51MB
600dpi ,L判	約 4倍	約2400dpi	18.05MB
1200dpi,L判	約 4倍	約4800dpi	72.20MB
2400dpi,L判	約 4倍	約9600dpi	288.80MB

アプリケーションソフトで画像サイズを拡大する方法

等倍(100%)でスキャンしたあと、アプリケーションソフトの機能で、プリントサイズに調整することもできます。

<ArcSoft PhotoStudioの例>

1. [ファイル]メニューから[印刷]を選択し、「印刷ダイアログ」を開きます。
2. スライダーを動かして、プリントサイズを調整します。このとき解像度は自動的に調整されます。必要に応じて、その他の設定をおこないます。

※ 詳しくは各アプリケーションソフトの電子マニュアルなどをご覧ください。

10 うまく動作しないときは

本書のとおりに操作しても、ソフトウェアがうまくインストールできない場合や、スキャナ本体が正常に動作しない場合の、代表的な原因と対処方法を解説します。

重 要

ここにない症状については、電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」の「困ったときには」をご覧ください。（電子マニュアルの見かた→ P.56）

インストールのトラブル

症状1

キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットしてもメインメニュー画面が表示されない

原因1

CD-ROMが正しくセットされていない。

対 処

キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし直してください。

原因2

キヤノスキャンセットアップCD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりがついている。または、CD-ROMが手あかなどでよごれている。

対処1

CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、軽くぬぐって取り除いてください。

対処2

CD-ROMの手あかなどの汚れは、めがねクリーナーなど、やわらかい布で、CD-ROMに傷を付けないように軽くぬぐって取り除いてください。

対処3

CD-ROMドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のブロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

重 要

絶対に CD-ROM ドライブのセンサー部を直接布で拭いたりしないでください。CD-ROM を読み取れなくなることがあります。

原因3

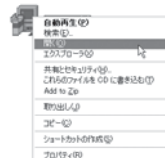
CD-ROMの自動起動の設定がオフになっているか、何らかの理由で自動起動しない。

対 処

次の手順で「キヤノスキャンセットアップ」を直接起動してください。（右へ続く）

Windows

❶ デスクトップの［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリック（Windows XPの場合、［スタート］メニューから［マイコンピュータ］をクリック）

❷ ［Canoscan］（CD-ROMドライブ）アイコンをダブルクリック、または［CanoScan］を右クリックし［開く］をクリック後、［Setup］アイコンをダブルクリック

Macintosh

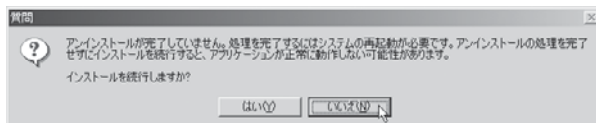
❶ デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリック

❷ ［SetUp］アイコンをダブルクリック

重 要

- CD-ROM アイコンや［SetUp］アイコンが表示されない場合は、CD-ROM ドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。
- CD-ROM アイコンをダブルクリックして開いても［SetUp］アイコンが見あたらない場合は、キヤノスキャンセットアップ CD-ROM が壊れている可能性があります。「お客様相談センター」（裏表紙）までお問い合わせください。

症状2<Windows>

Adobe Acrobat Readerのインストール時に、「アンインストールが完了していません。・・・」とメッセージが表示された

原 因

古いバージョンのAdobe Acrobat Readerがハードディスク内に残っている。

対 処

以下の手順で古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除してから、インストールします。

❶ [いいえ]をクリックしてインストールを中止します。

❷ メインメニュー画面に戻り、「アンインストール」の「アプリケーションソフトの削除」を選択して古いバージョンのAdobe Acrobat Readerを削除します。

❸ メインメニュー画面に戻り、「インストール」を選び、メッセージにしたがってインストールします。(→P.4～6)

症状3

インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった

原 因

インストール先のハードディスクドライブが一杯になり、インストールできなくなった。

対 処

次の操作で十分なハードディスクの空き容量を確保した後、インストールをし直してください。

Windows

- ハードディスクドライブ(C:)内の不要なファイルやアプリケーションソフトを削除します。(かならず[ごみ箱を空にする]を実行します。)
- [スタート]メニューの[(すべての)プログラム]から[アクセサリ]の[システムツール]で[ディスク クリーンアップ]を選択し、ハードディスクドライブ(C:)の不要なファイルを削除します。
- ハードディスクドライブ(C:)の[Windows]フォルダ(Windows 2000では[Winnt]フォルダ)内の[Temp]フォルダを開き、その中のファイルを削除します。
- Windows 2000/XPでは、ハードディスクドライブ(C:)の[Documents and Settings]→[ログインユーザ名]フォルダを表示させ、[ツール]メニューの[フォルダオプション]→[表示]で[すべてのファイルとフォルダを表示する]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。その後、[Local Settings]→[Temp]フォルダ内のファイルを削除します。

Macintosh

不要なファイルを選択し、[ファイル]メニューから[ゴミ箱に入れる]を選択し、[Finder]メニューから[ゴミ箱を空にする]を選択します。

症状4

「メモリが足りません…」のメッセージが出てインストールできない

原 因

作業中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用していて、インストールに必要なメモリ容量が確保できない。

対 処

開いているアプリケーションをすべて閉じるか、コンピュータを再起動して、その直後にインストールし直してみてください。

症状5

インストール後、ScanGear CSが見つからない

対 処

ScanGear CSは、Arcsoft PhotoStudioなどのTWAINに対応したアプリケーションソフトから呼び出すか、ScanGear Starterから起動してください。（→P.29）

Windows

ScanGear CSはインストールしても［スタート］メニューや［Program Files］フォルダ内には表示されません。

接続のトラブル

症状6<Windows>

スキャナを接続すると、新しいハードウェアの検索ウィザードまたは新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示される

原 因

キヤノスキャンセットアップCD-ROMでソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した。

対 処

ウィザード画面の［キャンセル］ボタンをクリックして終了し、キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットして、ソフトウェアをインストールしてください。（→P.4〜6）

スキャンのトラブル

症状7

「TWAIN（トウェイン）エラー」や「スキャナが接続されていません・・・」などのエラーメッセージが表示されて、ScanGear CSがアプリケーションソフトから呼び出せない

対処1

USBケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

対処2

USBケーブルを接続し直してください。USBケーブルは、必ずスキャナに同梱されているものをお使いください。

対処3

USBケーブルをUSBハブなどを介して接続しているときは、コンピュータ本体のUSBポートに直接接続してください。

対処4

コンピュータ本体に複数のUSBポートがある場合、他のUSBポートに差し替えてみてください。

対処5

アプリケーションソフトの「ソース選択」や「読み込み」の手順で、お使いのスキャナ名称を選択してください。（→P.18）

対処6

キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、ソフトウェアをインストールしてください。（→P.4〜9）

対処7

アプリケーションソフトがTWAINに対応していることを確認してください。TWAINに対応していないアプリケーションソフトからScanGear CSを呼び出すことはできません。

症状8

ScanGear CSを起動しようとしたとき「ロックスイッチを解除し、・・・」というエラーメッセージが表示され、ScanGear CSの画面が表示できない

原 因

スキャナ本体のロックが解除されていない。

対 処

いったんScanGear CSを終了させてから、ロックを解除してUSBケーブルを接続し直してください。（→P.11）

症状9

スキャンの途中でコンピュータが動かなくなってしまった

原因1

解像度の設定が高すぎる。

対 処

コンピュータを再起動し、出力解像度を下げてスキャンし直してください。（→P.33）

原因2

ハードディスクの空き容量が少ない。

対処1

コンピュータを再起動し、不要なファイルやアプリケーションソフトを削除してからスキャンし直してください。削除の方法は、P.49「症状3」をご参照ください。

対処2

アプリケーションソフトからScanGear CSを開き、拡張モードの「詳細設定」の「スキャナシート」で、「テンポラリファイルの保存先フォルダ」を十分な空き容量のあるドライブに変更してください。

原因3

複数の機器をUSBポートに接続している場合

対 処

スキャナ以外の機器を外してお使いください。

症状10

❶スキャナ前面のEZボタンが使えない

原因1

ソフトウェアのインストール時に、CanoScan Toolboxまたは他のアプリケーションソフトをインストールしていなかった。

対 処

キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、すべてのソフトウェアを再インストールしてください。（Windows→P.4〜6/Macintosh→P.7〜9）

原因2<Macintosh>

スキャナドライバScanGear CSをインストールしたときにログインしていたユーザーと違うユーザーでログインしている。

対 処

キヤノスキャンセットアップCD-ROMをドライブにセットし、[Media] フォルダの [SetButton] アイコンをダブルクリックして実行し、ログインし直してください。

❷スキャナ前面のCOPY（コピー）ボタンが使えない

原 因

プリンタドライバがインストールされていない。

対 処

ご使用のプリンタのプリンタドライバをインストールしてください。プリンタが正常に動作するかチェックしてください。

❸スキャナ前面のE-MAIL（Eメール）ボタンが使えない

原 因

適切なEメールソフトがインストールされていない。

対 処

Eメールソフトをインストールします。
使用できるメールソフトは、Windowsでは
Outlook Express、Microsoft Outlook、
EUDORA、Netscape Messenger。

Macintoshでは、Mail、EUDORA、MS Entourageです。

＊ Windowsで動作しない場合、メールソフトのMAPI設定が有効になっているかご確認ください。MAPI設定の方法については、各メールソフトの説明書をお読みください。

症状11
スキャナが動かない、または動かなくなった

対処1

コンピュータを再起動してみてください。

対処2

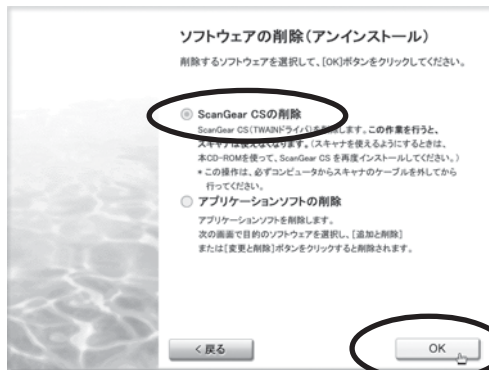
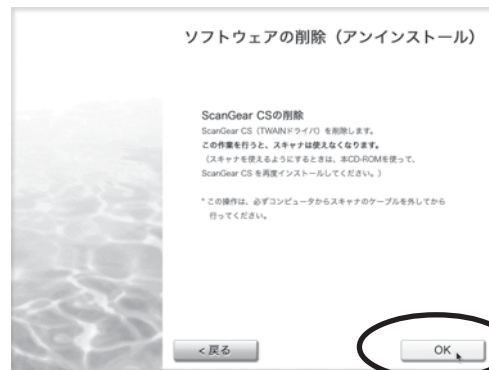
USB ケーブルをはずし、次の手順でScanGear CSを削除して再インストールしてください。

❶ **ScanGear CSの削除**
キヤノスキャンセットアップCD-ROMのメインメニュー画面で、「アンインストール」から「ScanGear CSの削除」を選び、ScanGear CSを削除します。

❷ **ScanGear CSの再インストール**
「3. ソフトウェアをインストールする」の手順にしたがって、ScanGear CSを再インストールします。（Windows→P.4〜6/Macintosh→P.7〜9）

Windows

Macintosh

状12＜Windows＞

これまで使っていたWindowsをWindows XPにアップグレードしたら、スキャナが動かなくなった

原 因

スキャナのドライバがインストールしてある場所が、これまでのWindows 98/Me/2000とWindows XPとでは異なる。

対 処

USB ケーブルをはずし、ScanGear CSとCanoScan Toolboxを削除して再インストールしてください。

❶ キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「アンインストール」で、ScanGear CSは「ScanGear CSの削除」を選び、CanoScan Toolboxは「アプリケーションソフトの削除」を選んで、それぞれ削除します。

❷ 「3. ソフトウェアをインストールする」の手順にしたがって、ScanGear CSとCanoScan Toolboxを再インストールします。（Windows→P.4〜6/Macintosh→P.7〜9）

症状13＜Windows＞

コンピュータにUSB 2.0拡張カードを取り付けたがスキャナが動かない

対 処

USBケーブルを外し、キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、「アンインストール」でいったんScanGear CSを削除した後、再インストールしてみてください。（Windows→P.4〜6/Macintosh→P.7〜9）

スキャナがUSB 2.0で正しく動作しているかどうかは、ScanGear CSの情報画面で確認できます。ScanGear CS画面の ボタンをクリックし、情報画面の「インタフェース」がUSB 2.0になっていれば正しく動作しています。

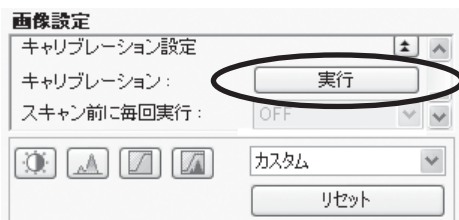
症状14

きれいにスキャンできない

原因1

再キャリブレーションが必要になっている。

対 処

ScanGear CSの拡張モードで、「画像設定」の「キャリブレーション設定」にある「キャリブレーション」の［実行］ボタンをクリックします。

原因2

印刷物やデジタルプリント写真をスキャンするとモアレ（縞模様）が発生する。

対処

ScanGear CSの基本モードで［雑誌（カラー）］を選択するか、拡張モードの「画像設定」で「モアレ低減」をONにしてスキャンしてください。（→P.30、P.31）

原因3

原稿にごみがついていたり、褪色していたりで、原稿の状態が悪い。

対処

ScanGear CSの拡張モードの「画像設定」で「ごみ傷低減」、「褪色補正」、「粒状感低減」など、補正してスキャンしてください。（→P.31）

フィルムスキャンのトラブル

症状15
フィルムのスキャンができない

原因1
フィルム用光源ユニットのケーブルが外れている。

対処
フィルム用光源ユニットのケーブルをスキャナのFAUコネクタに接続し直してください。（→P.38）

原因2
フィルムガイドを置く位置がずれている。

対処
フィルムガイドを、スキャナの原稿台ガラスの正しい位置にセットしてください。（→P.39）

原因3
フィルム用光源ユニットが正しくセットされていない。

対処
フィルム用光源ユニットを、スキャンするコマへセットしてください。（→P.41）

原因4
原稿台カバーを閉じていない。

対処
原稿台カバーを正しく閉じてください。（→P.41）

原因5
ScanGear CSがフィルムスキャンの設定になっていない。

対処
「原稿を選択する（原稿の種類）」でフィルムの種類を選択してください。　（→P.42、P.46）

症状16
きれいにスキャンできない、適切な色合いでスキャンされない

原因1
キャリブレーションデータの更新が必要になった。

対処
ScanGear CSの拡張モードで、「画像設定」の「キャリブレーション設定」にある「キャリブレーション」の［実行］ボタンをクリックします。（→P.46）

原因2
原稿台ガラス面や、フィルム用光源ユニットの発光面にほこりや汚れが付着している。

対処
原稿台ガラス面やフィルム用光源ユニットの発光面の汚れをきれいに取り除いてください。乾いたやわらかい布で拭くか、ブロアブラシで吹き飛ばしてください。

原因3
フィルムにごみがついていたり、褪色していたりで、原稿の状態が悪い。

対処
ScanGear CSの拡張モードの「画像設定」で「ごみ傷除去」、「褪色補正」、「粒状感低減」など、補正してスキャンしてください。（→P.46）

原因4
リング状の縞模様（ニュートンリング）が発生している。

対処
フィルムのおもて面を下にしてセットして［プレビュー］ボタンをクリックし、ScanGear CSツールバーの画像の反転や回転ボタンでプレビュー画像の向きを調整してからスキャンしてください。

原因5
非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルムまたはフィルムのコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は2mm程度）をスキャンしようとしている。

対処1
EZボタンまたはToolboxでスキャンしたときに色合いが適切でない場合は、ScanGear CSでスキャンし直してください。（→P.41）

対処2
ScanGear CSでプレビューしたときに色合いが適切でない場合は、拡張モードで明るさやコントラスト、トーンカーブなどを調整してスキャンしてください。（→P.46）

症状17
プレビュー後、正常に表示されない

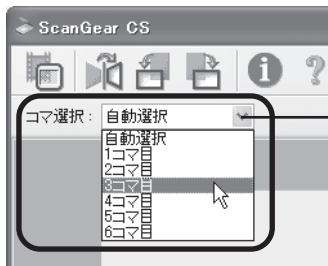
原因1
フィルムがずれている。

対処

いったんフィルム用光源ユニットをはずし、フィルムガイド内にフィルムを置き直してください。フィルム用光源ユニットを置くときは、フィルムを動かさないように真上から静かに置いてください。（→P.41）

原因2
フィルムのコマ選択が自動でうまくできない。

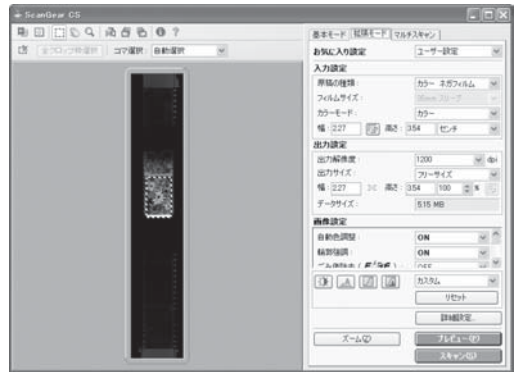
対処

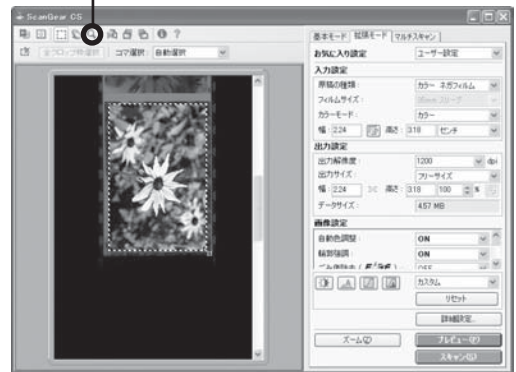
「コマ選択」でスキャンするコマを指定してください。

右端のボタンをクリックし、プルダウンメニューからスキャンするコマを選択します。

原因3
非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルムまたはフィルムのコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は2mm程度）をスキャンしようとしている。

対処

❶ ScanGear CSの拡張モードで、サムネイルボタン をクリックし、サムネイル非表示にします。

フィルム全体が表示されます。

❷ 表示されているクロップ枠をスキャンするコマ（フィルム用光源ユニットを置いたコマ）に正しく合わせます。

［ズーム］ボタンをクリックし、マウスポインタを画像に合わせてクリックすると表示を拡大できます。

❸ ［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンします。

- ディスプレイに表示されたスキャン画像には問題ないが、プリンタで印刷したときに画質が悪くなったり、印刷結果に余白が出てしまう場合は、プリンタでの設定方法やプリンタのトラブルが考えられます。お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- ここに記載されていない症状については、電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」の「困ったときには」をご覧ください。（電子マニュアルの見かた→ P.56）

11 電子マニュアルの見かた

スキャナドライバScanGear CS、ユーティリティソフトCanoScan Toolboxの詳しい使いかたや付属のアプリケーションソフトの活用方法などを知りたいときは「スキャナ操作ガイド」（HTML形式）、付属のアプリケーションソフトの詳しい使いかたを知りたいときは各アプリケーションソフトのマニュアル（PDF形式やHTML形式）をご覧ください。

電子マニュアルの種類

キヤノスキャンセットアップCD-ROMには、以下の電子マニュアルが入っています。

- **スキャナ操作ガイド（HTML形式）**
- **ArcSoft PhotoStudio　マニュアル（PDF形式）**
- **読取革命Lite マニュアル（HTML形式）**

電子マニュアルは、コンピュータの画面に表示して読むマニュアルで、HTML形式とPDF形式の2種類があります。

HTML形式の電子マニュアル

電子マニュアル「スキャナ操作ガイド」は、ソフトウェアのインストール時にコンピュータのハードディスクへインストールされています。

スキャナ操作ガイドの起動方法

方法1: デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

Windows

Macintosh

方法2: ScanGear CS のツールバーの ?（マニュアル表示ボタン）、CanoScan Toolbox のメイン画面にある ?（マニュアル表示ボタン）をクリックすると、それぞれの解説のトップページが表示されます。

方法3: キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、「マニュアル表示」画面で「スキャナ操作ガイド」を選択します。

▼ 自動的にブラウザソフトが起動し、「スキャナ操作ガイド」のトップページが表示されます。
Windows の場合、スタートメニューの［（すべての）プログラム］で［Canon］→［CanoScan LiDE 500F］→［スキャナ操作ガイド CanoScan LiDE 500F］を選択しても起動します。

読取革命Lite マニュアルの起動方法

方法1: **Windows**

［スタート］メニューの［（すべての）プログラム］で［読取革命Lite］→［マニュアル］を選択します。

Macintosh

［アプリケーション］フォルダ内の［読取革命Lite］フォルダを開き、［マニュアル.html］をダブルクリックします。

方法2: キヤノスキャンセットアップCD-ROMをセットし、「マニュアル表示」画面で［読取革命Lite］を選択します。

▼ 自動的にブラウザソフトが起動し、「読取革命 Lite マニュアル」のトップページが表示されます。

「スキャナ操作ガイド」の項目

スキャンのしかた

EZボタンでスキャンする
[COPY]ボタンで印刷する
[SCAN]ボタンで画像を取り込む
[PDF]ボタンでPDFファイルを作成する
[E-MAIL]ボタンでメールに添付する
CanoScan Toolboxでスキャンする
ScanGear CSでスキャンする
フィルムをスキャンする
EZボタンでスキャンする
[COPY]ボタンで印刷する
[SCAN]ボタンで画像を取り込む
CanoScan Toolboxでスキャンする
ScanGear CSの基本モードでスキャンする
ScanGear CSの拡張モードでスキャンする

ScanGear CSの使いかた

ScanGear CSの起動
スキャンのモードについて
スキャンの手順
基本モードの機能
ツールバー
プレビューエリア
プレビューエリアでのクロップ範囲の作成方法
モード切替タブ
設定項目と操作のボタン
拡張モードの機能
ツールバー
プレビューエリア
プレビューエリアでのクロップ範囲の作成方法
モード切替タブ
お気に入り設定
入力設定
出力設定
画像設定
色調整ボタン
[詳細設定]ボタン
プレビューとスキャンのボタン
マルチスキャンの機能

CanoScan Toolboxの使いかた

CanoScan Toolboxの起動
スキャンの手順
ボタンの機能
[コピー]ボタン(コピー画面)
並行処理コピー(Windows)
画像の貼り合わせの詳しい手順
[プリント]ボタン(プリント画面)
[印刷レイアウト]画面
スキャン画像の確認とExif情報の入力
画像の貼り合わせの詳しい手順
[メール]ボタン(メール画面)
スキャン画像の確認とExif情報の入力
[OCR]ボタン(OCR画面)
[保存]ボタン(保存画面)
画像の貼り合わせの詳しい手順
スキャン画像の確認とExif情報の入力
[PDF]ボタン(PDF画面)
画像の貼り合わせの詳しい手順
スキャン画像の確認とExif情報の入力
[スキャン-1][スキャン-2]ボタン(スキャン画面)
画像の貼り合わせの詳しい手順
スキャン画像の確認とExif情報の入力
[設定]ボタン(設定画面)

アプリケーションソフトについて

PhotoStudio
読取革命Lite
Acrobat Reader
電子マニュアル(PDF)の読みかた

目的別にスキャンする

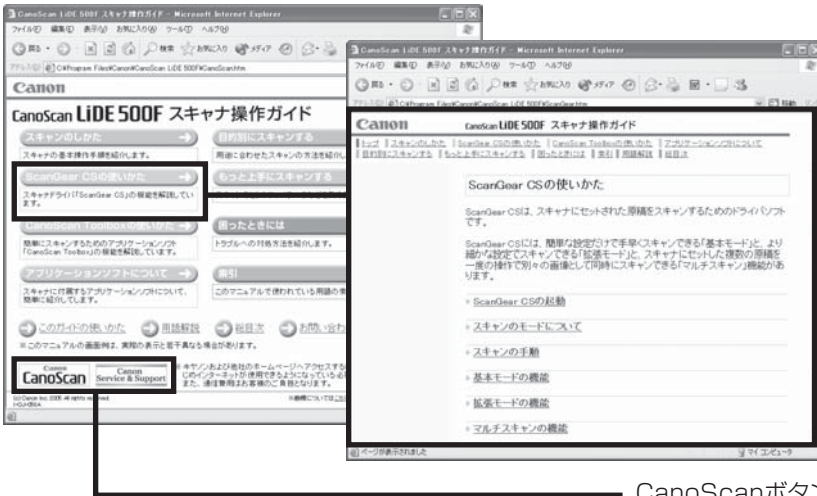
写真、書類、フィルムからスキャン
スキャンして保存する
写真を印刷する(焼き増し、引き伸ばし)
原稿をコピーする
デジタルアルバムを作る
WordやExcelに画像を貼り付ける
保存してある画像を貼り付ける
スキャンして貼り付ける
写真、書類からスキャン
文字原稿をテキストデータに変換する(OCR)
複数のページをPDF化して一つのファイルに保存する
複数の原稿を一度にスキャンする(マルチスキャン)
CanoScan Toolboxでマルチスキャンする
ScanGear CSのマルチスキャン機能でマルチスキャンする
ScanGear CSの拡張モードでマルチスキャンする
Eメールに画像を添付する
原稿台よりも大きな原稿をスキャンする(画像貼り合わせ)

もっと上手にスキャンする

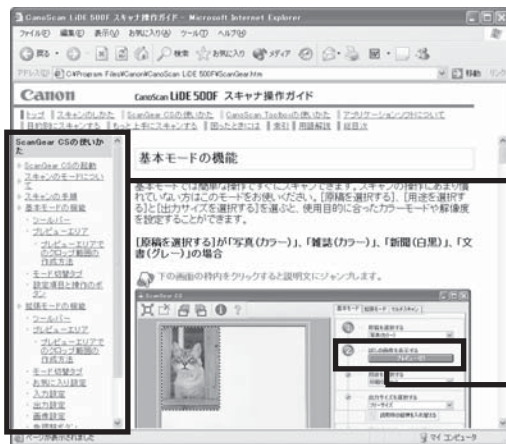
スキャン画像を好みの色合いに調整するには
明るさとコントラストの調整方法
ヒストグラムの調整方法
トーンカーブの調整方法
モニタガンマ値の調整方法
もっとくっきりした画質でスキャンするには
モアレ、ごみ傷、色褪せなどを目立たなくするには
解像度の決めかた
解像度とデータ容量
スキャン画像を保存するときのファイル形式(ファイルの種類、フォーマット)

困ったときには

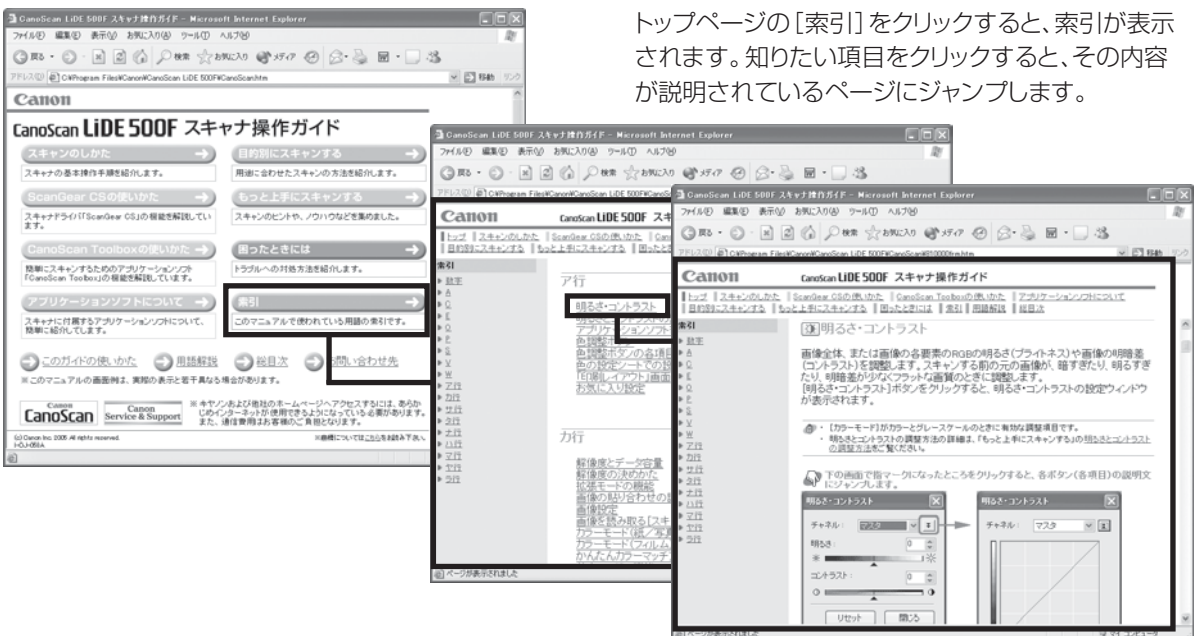
インストールのトラブル
接続のトラブル
スキャンのトラブル
ソフトウェアのトラブル
フィルムスキャンのトラブル
その他のトラブル
ScanGear CSメッセージ/エラーメッセージ一覧

「スキャナ操作ガイド」の基本操作

最初に表示されるのが「トップページ」です。このページには8つのメニューがあり、必要な項目を選ぶと、詳細な目次ページが表示されます。目次ページの項目を選ぶと、本文が表示されます。

画面内のボタンやリンク箇所をクリックしたり、ブラウザソフトの［戻る］ボタンなどをクリックして、読みたい項目を表示します。

CanoScanボタンやService&Supportボタンをクリックするとキヤノンのホームページが表示され、最新の製品情報やQ&Aを見ることができます。
＊ホームページをご覧になるには、インターネットに接続していることが必要です。

解説ページが表示されると、画面左側には現在選ばれているメニューがわかるように「ナビゲーション」が表示されます。同じメニューの中ならば、ナビゲーションの別の項目をクリックすることで、その内容をすばやく表示することができます。

ソフトウェアの画面表示の知りたい部分をクリックすると、その解説が表示されます。

トップページの［索引］をクリックすると、索引が表示されます。知りたい項目をクリックすると、その内容が説明されているページにジャンプします。

＊　詳しくは、「スキャナ操作ガイド」の「スキャナ操作ガイドの使いかた」をご覧ください。

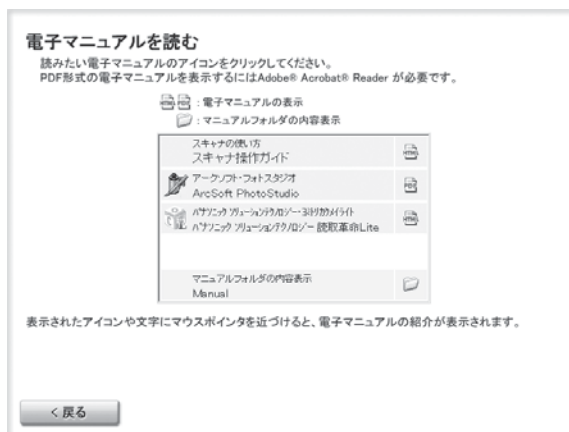
PDF形式の電子マニュアル

電子マニュアルは、キヤノスキャンセットアップCD-ROMに収録されています。

PDF形式電子マニュアルの起動方法

1 キヤノスキャンセットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、メニュー画面の［マニュアル表示］をクリックします。

2 読みたいマニュアルをクリックします。

▼Adobe Acrobat Readerが自動的に起動し、電子マニュアルが画面上に表示されます。Adobe Acrobat Readerをはじめて使うときは、表示された「ソフトウェア使用許諾書」の［同意する］ボタンをクリックしてください。

3 マニュアルを読み終わったら、Adobe Acrobat Readerを終了します。

▼キヤノスキャンセットアップCD-ROMの「マニュアル表示」の画面に戻ります。
▼キヤノスキャンセットアップCD-ROMを終了し、CD-ROMを取り出します。

動作環境

	USB 2.0 Hi-Speedで接続する場合		
	Windows環境		Macintosh環境
PC	DOS/V互換機（USB 2.0 Hi-Speedインタフェースを標準装備している）*1 *2	DOS/V互換機（USB 2.0 Hi-Speedインタフェースを装備していない）*1	iBook、PowerBook、iMac、Power Mac
CPU	Intel: Pentium III, Pentium4 Celeron（566MHz以上） AMD: Athlon, Athlon MP, Athlon XP, Duron		Power PC G4以上
インタフェース	USB 2.0 Hi-Speedインタフェース（本体に標準装備されているもの）	USB 2.0 Hi-Speedインタフェース（別途キヤノン推奨USB 2.0 Hi-Speedインタフェース拡張カードが必要） *3	USB 2.0 Hi-Speedインタフェース（本体に標準装備されているもの）*7
OS	Windows XP Professional（プレインストール） Windows XP Home Edition（プレインストール） Windows XP Media Center Edition 2004（プレインストール）	Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Media Center Edition 2004、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition *5 *6	Mac OS X バージョン10.2.7以降 (ネイティブモード)
メモリ	128MB以上（256ＭＢ以上推奨）		
表示環境	High color（16bit）以上、1,024x768ドット以上		カラー32,000色以上、1,024x768ドット以上
CD-ROMドライブ	必要		

	USB（USB 1.1相当）で接続する場合	
	Windows環境	Macintosh環境
PC	DOS/V互換機 *1	iBook、PowerBook、iMac、eMac、Power Mac Power Macintosh
CPU	Pentium Ⅱ 300MHz以上	Power PC G3 以上
インタフェース	USB（USB 1.1相当）（本体に標準装備されているもの） *4	
OS	Windows XP Professional、 Windows XP Home Edition、 Windows 2000 Professional、 Windows Millennium Edition、Windows 98 *5	Mac OS X バージョン10.2以降 (ネイティブモード)
メモリ	128MB以上（256ＭＢ以上推奨）	
表示環境	High color(16bit)以上、1,024x768ドット以上	カラー32,000色以上、1,024x768ドット以上
CD-ROMドライブ	必要	

* USB 2.0 Hi-SpeedインタフェースはUSB（USB 1.1相当）完全上位互換ですので、USB（USB 1.1相当）としてもご使用いただけます。
* OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。
* USB 2.0 Hi-Speed ドライバのダウンロードにあたり、ネットワーク環境が必要になる場合があります。
* USB 2.0 Hi-Speedインタフェースを標準搭載しているMacintoshとの接続に関する最新情報については、キヤノスキャンのホームページ(http://canon.jp/canoscan)をご参照ください。

*1 NEC PC-9800/9821 シリーズには対応していません。自作PC、ショップブランドPCでは動作しない場合があります。
*2 USB 2.0 Hi-Speed インタフェースを標準装備したPCすべての動作を保証するものではありません。最新情報については、キヤノスキャンのホームページ(http://canon.jp/canoscan)をご参照ください。
*3 キヤノン推奨 USB 2.0 Hi-Speedインタフェース拡張カードの最新情報については、キヤノスキャンのホームページ(http://canon.jp/canoscan)をご参照ください。カードを取りつけたあとにスキャナドライバを再インストールすることをおすすめします。
*4 拡張USB（USB 1.1 相当）カードには対応していません。
*5 Windows 95/98からのアップグレードを含みます。
*6 このスキャナは、Windows 98SE およびWindows 98におけるUSB 2.0 Hi-Speed接続には対応しておりません。
*7 Macintoshは、USB 2.0拡張カードには対応していません。
記載内容は予告無しに変更する場合があります。
仕様、動作環境についてはかならずカタログ、またはホームページ(http://canon.jp/canoscan)をご確認ください。

主な仕様

		CanoScan LiDE 500F
形式		フラットベッド型（原稿固定型）
読み取り素子		CIS（コンタクトイメージセンサー）
光源		3色（RGB）LED
光学解像度		2400×4800 dpi
読み取り密度		25～19200 dpi（ScanGear CS）
読み取り階調	カラー	RGB各色16ビット入力／16ビットまたは8ビット出力
	グレースケール	16ビット入力／16ビット*1または8ビット出力
読み取り時間*2（写真、文書）	カラー	10.38 msec/line (1200 dpi)、20.7 msec/line (2400 dpi)
	グレースケール、白黒	4.98 msec/line (1200 dpi)、6.9 msec/line (2400 dpi)
読み取り時間（フィルム）*2	カラー、グレースケール、白黒	5.16 ～ 82.56 msec/line
プレビュー速度*3		約9秒
インターフェース		USB 2.0 Hi-Speed、USB（USB 1.1相当）
最大原稿サイズ		A4／レター、216×297 mm
フィルムタイプ／読み取りコマ数		35 mmスリーブフィルム（ ネガ、ポジ）*4／1コマ
EZボタン		COPY、SCAN、PDF、E-MAIL
使用環境	温度範囲	5～35℃
	湿度範囲	10～90% RH、フィルムスキャン時20～80% RH（ただし結露のないこと）
電源供給		USBポートより供給（ACアダプタ不要）
消費電力		最大2.5 W、スタンバイ時1.4 W
最大外形寸法		396.5（幅）×280（奥行）×34.9（高さ）mm
質量		約2.0 kg

*1 フィルムのみ対応。
*2 USB 2.0 Hi-SpeedモードのWindows環境における最速値。コンピュータへの転送時間は含みません。実際の速度は、スキャンする原稿やスキャンの設定、コンピュータの仕様等により変化します。
*3 キャリブレーション時間は含みません。
*4 35mmスライドマウントに装着された状態でのスキャンはできません。

製品の仕様は予告なく変更することがあります。

システムインフォメーション

本欄は、お客様のスキャナの使用環境を記入していただく欄です。スキャナの故障で「修理サービス窓口」に修理を依頼される場合や、トラブルで「お客様相談センター」に連絡をされる場合に必要になります。かならずご記入のうえ大切に保管してください。

- 修理などの保守作業の際には、保証書が必要になります。保証書は必要事項をご記入のうえ、保管いただきますようお願いいたします。
- 本製品の保守サービス期間は、製品の製造打ち切り後、5年間です。

ご購入日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：　　　　　　　　　　電話番号：　　（　　）

ご購入店住所：

スキャナモデル名：CanoScan LiDE 500F

本体機種番号（本体背面に表記されています）：

■ご使用のパソコンについて

メーカ名：

機種名：

CPU名：

クロック周波数：　　　　　　MHz

搭載メモリ容量：　　　　MB

ハードディスク容量：　　　　MB

空き容量：　　　　MB

OS名：　Windows　□XP　□2000　□Me　□98　□98SE

　　　　Mac OS　□X v10.2　□X v10.3

OSのバージョン：

モニタメーカ名：

モニタ型名：

モニタサイズ：　　　　　　インチ

プリンタメーカ名：

プリンタ型名：

プリンタ解像度：　　　　　　dpi

常駐ウイルスチェックプログラム：

常駐ファイル圧縮プログラム：

装備している拡張カード：

接続周辺機器：

接続ネットワーク名：

修理受付窓口

このスキャナの修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。

■修理受付窓口

下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00 ～ 17:30 です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京ＱＲセンター・新宿 QR センターの営業時間は、10:00 ～ 18:00、休業日は日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品の取扱いもしています。

お願い： このスキャナの取扱い方法のお問い合わせは、かならず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※ **札幌サービスセンター** TEL 011(728)0665
〒060-8522 北海道札幌市北区北７条西１－１－２ ＳＥ山京ビル１Ｆ 札幌支店内

東北地区

※ **仙台 QR センター** TEL 022(217)3210
〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町３－６－１ 仙台パークビルヂング１Ｆ 仙台支店内

関東・信越地区

大宮サービスセンター （持ち込みのみ）TEL 048(649)1450
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町１－１０－１７ シーノ大宮サウスウイング６Ｆ さいたま営業所内

東日本修理センター （持ち込みのみ） TEL 043(211)9032
〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬１－７－２ キヤノン販売ビル１Ｆ 幕張事業所内

東京・神奈川・山梨地区

東京 QR センター （持ち込みのみ） TEL 03(3837)2961
〒110-0005 東京都台東区上野１－１－１２ 信井ビル１Ｆ

新宿 QR センター （持ち込みのみ） TEL 03(3348)4725
〒163-0401 東京都新宿区西新宿２－１－１ 新宿三井ビル１Ｆ

※ **キヤノンテクニカルセンター** TEL 0297(35)5000
〒306-0605 茨城県岩井市大字馬立１２３４ Ｆ７棟３Ｆ
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。

横浜サービスセンター （持ち込みのみ） TEL 045(312)0211
〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸２－６－２６ ＨＩ横浜ビル２Ｆ 横浜営業所内

中部・北陸地区

※ **名古屋ＱＲセンター** TEL 052(939)1830
〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜２－２－１ 高岳パークビル１Ｆ 名古屋支店内

近畿地区

※ **大阪ＱＲセンター** TEL 06(6942)7418
〒540-0003 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央２－５－３

中国・四国地区

※ **広島サービスセンター** TEL 082(240)6712
〒730-0051 広島県広島市中区大手町３－７－５ 広島パークビルヂング１Ｆ 広島支店内

※ **高松サービスセンター** TEL 087(823)4681
〒760-0027 香川県高松市紺屋町４－１０ 鹿島紺屋町ビル１Ｆ 高松営業所内

九州地区

※ **福岡 QR センター** TEL 092(411)4173
〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島１－２－１ キヤノン販売福岡ビル１Ｆ 福岡支店内

＊上記の記載内容は、2004 年 10 月現在のものです。都合により予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

各種情報の入手方法

このスキャナに付属のキヤノン製ソフトウェアは、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。
バージョンアップの情報およびバージョンアップしたファイルは、次の方法でご入手ください。

■最新のドライバ、ユーティリティの入手方法

●インターネット：キヤノンホームページ http://canon.jp/

「ダウンロード」を選択、「パーソナル向けスキャナー【CanoScan ／ IX】」を選択し、目的のソフトウェアをダウンロードしてください。
※ インターネットの通信料はお客様のご負担になります。
※ ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

●代引き配送サービス

配送時に代金引き換えにて、ドライバの CD-ROM をお送りいたします。インターネットで、製品に関する情報、提供中のドライバの種類や内容をご確認ください。

お問い合わせの前に、ここをチェック！！

- **CD-ROM や CD-ROM ドライブにごみやほこりがついていませんか？** （→ P.48）
- **すべてのソフトウェアをインストールしましたか？** （→ Windows P.4、→ Macintosh P.7）
- **スキャナのロックを解除しましたか？** （→ P.10）
- **スキャナとコンピュータが正しく接続されていますか？** （→ P.13）
- **アプリケーションソフトの［ソースの選択］で、お使いのスキャナを選択しましたか？** （→ P.18）

お問い合わせ窓口

ホームページには、製品情報、Q&A 検索、ドライバダウンロードなどの情報が掲載されています。ぜひご利用ください。

●キヤノンホームページ　**http://canon.jp/canoscan**

■付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口とホームページ

ソフトウェアについては、「キヤノスキャンセットアップ CD-ROM」の電子マニュアル、またはソフトウェアの READ ME ファイル、HELP などを合わせてご覧ください。

● Adobe Acrobat Reader（アドビ・アクロバット・リーダー）

アドビシステムズ（株）　**http://www.adobe.co.jp/**「サポートデータベース」

● ArcSoft PhotoStudio（アークソフト・フォトスタジオ）

アークソフトジャパン　**03-5795-1392**　**http://www.arcsoft.jp/**「サポート」

●読取革命 Lite（ヨミトリカクメイ・ライト）

パナソニック ソリューションテクノロジー（株）　**0570-00-8700**
http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/
「PSTC ソフトサポートセンター」

● ScanGear CS（スキャンギア CS）
● CanoScan Toolbox（キヤノスキャン・ツールボックス）

キヤノン販売（株）お客様相談センター　**050-555-90021**　**http://canon.jp/canoscan**

■スキャナの電話ご相談窓口

お客様相談センター（全国共通電話番号）　050-555-90021

【受付時間】　＜平日＞ 9:00 ～ 20:00
＜土日祝日＞ 10:00 ～ 17:00（1/1 ～ 1/3 は休ませていただきます）

※　上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9555 をご利用ください。
※　IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※　受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ お問い合わせされた場合、スキャナを接続しているコンピュータの状況などをお尋ねすることがあります。あらかじめ、P.62 の「システムインフォメーション」のページに必要事項をご記入の上、大切に保管しておいてください。
※ お問い合わせ窓口は、変更されていることがありますのでご注意ください。

キヤノン販売株式会社　〒 108-8011　東京都港区港南 2-16-6
I-IJ-259B

PRINTED IN CHINA